

令和2年度

事業報告書
決算報告書

公益財団法人 広島市みどり生きもの協会

目 次

第1 事業報告書

| | | |
|---|------------|-----|
| 1 | 設立目的及び概況 | 1 |
| 2 | 役員等の状況 | 2 |
| 3 | 理事会等の開催 | 4 |
| 4 | 定款の変更 | 4 |
| 5 | 職員の状況 | 5 |
| 6 | 事業の実施状況 | 6 |
| 7 | 事業報告の附属明細書 | 5 7 |

第2 決算報告書

| | | |
|---|--------------|-----|
| 1 | 貸借対照表 | 5 8 |
| 2 | 貸借対照表内訳表 | 6 0 |
| 3 | 正味財産増減計算書 | 6 1 |
| 4 | 正味財産増減計算書内訳表 | 6 5 |
| 5 | 財務諸表に対する注記 | 6 9 |
| 6 | 附属明細書 | 7 2 |
| 7 | 財産目録 | 7 3 |

事業報告書

第1 事業報告書

令和2年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告書 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

緑のまちづくりの事業及び公園に関する事業を通して、ゆとりとやすらぎのある緑豊かな都市環境の形成及び市民の心身の健全な発達を図るとともに、生物多様性の保全に貢献し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

昭和51年10月1日 財団法人広島市公園協会として設立

平成11年 4月1日 財団法人広島市動物園協会と統合

平成24年 4月1日 公益財団法人へ移行し、公益財団法人広島市みどり生きもの協会に名称変更

イ 基本財産

設立当初、基本財産は1,000万円(全額広島市出資)であったが、平成11年4月1日財団法人広島市動物園協会との統合に伴い、同財団から1,200万円を寄附受領し、また、広島市から9,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、1億1,200万円(うち広島市出資1億円)である。

ウ 実施事業

- (ア) 緑化思想の普及啓発、民有地の緑化等緑のまちづくりの推進
- (イ) 広島市が設置する公園及び公園施設の管理運営及び利用の促進
- (ウ) 広島市が設置する動物公園、植物公園及び昆虫館の管理運営及び利用の促進
- (エ) 生きものに関する調査研究、教育及び普及啓発
- (オ) 前各号に関する附帯事業の運営
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数

| | |
|------|-----|
| 理事長 | 1人 |
| 専務理事 | 1人 |
| 常務理事 | 2人 |
| 理事 | 11人 |
| 監事 | 2人 |
| 評議員 | 12人 |

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

| 異動年月日 | 役職 | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|------|--------|------|
| 令和2年4月1日 | 理事長 | 及川 享 | 就任 |
| | 専務理事 | 堀 敬輔 | 就任 |
| 令和2年6月12日 | 理事長 | 及川 享 | 重任 |
| | 常務理事 | 南 心司 | 重任 |
| | 監事 | 久光 章 | 重任 |
| 令和2年6月16日 | 理事 | 児玉 吾郎 | 辞任 |
| 令和2年9月1日 | 理事 | 高橋 博 | 就任 |
| 令和3年3月31日 | 常務理事 | 栄谷 洋 | 辞任 |
| | 理事 | 上向井 利之 | 辞任 |

イ 令和3年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

| 役職 | 氏名 | 就任年月日 |
|------|--------|------------|
| 理事長 | 及川 享 | 令和2年4月1日 |
| 専務理事 | 堀 敬輔 | 令和2年4月1日 |
| 常務理事 | 栄谷 洋 | 平成28年4月1日 |
| 常務理事 | 南 心司 | 平成27年4月1日 |
| 理事 | 石田 源次郎 | 平成24年4月1日 |
| 理事 | 上向井 利之 | 平成29年6月14日 |
| 理事 | 金子 和泰 | 平成31年3月28日 |
| 理事 | 高橋 博 | 令和2年9月1日 |
| 理事 | 竹下 俊治 | 令和元年6月12日 |
| 理事 | 中越 信和 | 平成17年7月1日 |
| 理事 | 中原 裕子 | 平成27年6月10日 |
| 理事 | 松本 幸雄 | 平成21年7月1日 |
| 理事 | 宮崎 智三 | 平成29年3月28日 |
| 理事 | 山口 富美夫 | 令和元年6月12日 |
| 理事 | 渡邊 一雄 | 平成17年7月1日 |
| 監事 | 神田 敏治 | 平成19年7月1日 |
| 監事 | 久光 章 | 平成30年4月1日 |

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

| 異動年月日 | 役職 | 氏名 | 異動内容 |
|------------|-----|--------|------|
| 令和2年 6月12日 | 評議員 | 大橋 啓一 | 重任 |
| 令和2年 6月12日 | 評議員 | 尾楠 美代子 | 重任 |
| 令和2年 6月12日 | 評議員 | 真宅 成光 | 重任 |
| 令和2年 6月12日 | 評議員 | 竹澤 寿幸 | 重任 |
| 令和2年 6月12日 | 評議員 | 田邊 朋子 | 重任 |
| 令和2年 6月12日 | 評議員 | 富川 久美子 | 重任 |
| 令和2年 6月12日 | 評議員 | 中島 昌子 | 重任 |
| 令和2年 6月12日 | 評議員 | 中坪 孝之 | 重任 |
| 令和2年 6月12日 | 評議員 | 福田 博 | 重任 |
| 令和2年 6月12日 | 評議員 | 藤井 敏男 | 重任 |
| 令和2年 6月12日 | 評議員 | 山岡 裕幸 | 重任 |
| 令和2年 6月12日 | 評議員 | 吉田 幸 | 重任 |

イ 令和3年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

| 役職 | 氏名 | 就任年月日 |
|-----|--------|-------------|
| 評議員 | 大橋 啓一 | 平成28年 6月 9日 |
| 評議員 | 尾楠 美代子 | 平成26年 3月27日 |
| 評議員 | 真宅 成光 | 平成24年 4月 1日 |
| 評議員 | 竹澤 寿幸 | 平成25年 8月 1日 |
| 評議員 | 田邊 朋子 | 平成29年 6月14日 |
| 評議員 | 富川 久美子 | 平成28年 6月 9日 |
| 評議員 | 中島 昌子 | 平成24年 4月 1日 |
| 評議員 | 中坪 孝之 | 平成24年 4月 1日 |
| 評議員 | 福田 博 | 平成30年 6月14日 |
| 評議員 | 藤井 敏男 | 平成24年 4月 1日 |
| 評議員 | 山岡 裕幸 | 平成29年 6月14日 |
| 評議員 | 吉田 幸 | 平成30年 6月14日 |

3 理事会等の開催

(1) 理事会

| 開催年月日 | 開催回数 | 付議事項 | 審議結果 |
|----------------------|--------------|---|--------------------------|
| 令和2年4月1日 (決議の省略) | 令和2年度 第1回 | 1 理事長の選定の決議について 2 専務理事の選定の決議について | 選 定 選 定 |
| 令和2年5月28日 | 令和2年度 第2回 | 1 令和元年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告及び決算報告について 2 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について(その1) 3 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について(その2) 4 令和元年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況及び職員の職務に係る倫理の保持に関して講じた施策に関する報告について | 承 認 終 了 終 了 終 了 |
| 令和2年6月12日 (決議の省略) | 令和2年度 第3回 | 1 理事長の選定の決議について 2 常務理事の選定の決議について | 選 定 選 定 |
| 令和3年3月3日 (決議の省略) | 令和2年度 第4回 | 1 令和2年度第3回評議員会の招集について | 原案可決 |
| 令和3年3月30日 | 令和2年度 第5回 | 1 令和3年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び収支予算について 2 令和3年度第1回評議員会の招集について 3 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について | 承 認 原案可決 終 了 |

(2) 評議員会

| 開催年月日 | 開催回数 | 付議事項 | 審議結果 |
|----------------------|--------------|---|---------------------------------|
| 令和2年6月12日 | 令和2年度 第1回 | 1 令和元年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告について 2 評議員の選任の決議について 3 理事の選任の決議について 4 監事の選任の決議について 5 令和元年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告について | 承 認 選 任 選 任 選 任 終 了 |
| 令和2年8月28日 (決議の省略) | 令和2年度 第2回 | 1 理事の選任の決議について | 選 任 |
| 令和3年3月30日 | 令和2年度 第3回 | 1 理事の選任の決議について 2 公益財団法人広島市みどり生きもの協会定款第28条第1項に定める役員の選任の決議について | 選 任 選 任 |

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

5 職員の状況

令和3年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

| 区分 | 事務職員 | | | | | | 技術職員 | | | | | | 技能業務職員 | 非常勤職員 | 合計 | |
|-------|--------|-----|-------|-----|----|----|------|-----|-------|-----|----|----|--------|-------|----|-----|
| | 部長級 | 課長級 | 課長補佐級 | 係長級 | 主事 | 小計 | 部長級 | 課長級 | 課長補佐級 | 係長級 | 技師 | 小計 | | | | |
| 緑化管理部 | 経営企画課 | | 1 | 1 | 3 | 4 | 9 | | | | | 2 | 2 | 1 | 4 | 16 |
| | 昆虫館 | | | | 1 | | 1 | | 1 | | 3 | 3 | 7 | | 1 | 9 |
| 動物公園 | 管理課 | | 1 | 1 | 2 | 3 | 7 | | | | 1 | 3 | 4 | 3 | 13 | 27 |
| | 飼育・展示課 | | | | | 1 | 1 | | 1 | 4 | 8 | 16 | 29 | | 2 | 32 |
| 植物公園 | 管理課 | | 1 | 1 | 3 | 1 | 6 | 1 | | 1 | | 3 | 5 | 1 | 1 | 13 |
| | 栽培・展示課 | | | | | | | | 1 | 2 | 2 | 6 | 11 | | 6 | 17 |
| 合計 | | | 3 | 3 | 9 | 9 | 24 | 1 | 3 | 7 | 14 | 33 | 58 | 5 | 27 | 114 |

6 事業の実施状況

次の事業を実施した。

(1) 公益目的事業

① 緑のまちづくり〔公1事業〕

緑化思想の普及、啓発を図るとともに、市民の自主的な緑化活動を促進し、市民の生活にゆとりと安らぎを与え、健やかで潤いのある緑豊かな住みよいまちづくりを進めるため、次のとおり事業を実施した。

ア 緑化思想の普及啓発

(ア) グリーンフェア

| 名 称 | 時 期 | 場 所 | 内 容 | 入場者数 |
|-----------|-------------------|------|--|---------|
| 秋のグリーンフェア | 10月17日 ~10月25日 | 植物公園 | 広島市等と実行委員会を組織し、見どころめぐりスタンプラリーや花と緑の講習会などを行った。 | 12,586人 |

(イ) 第37回全国都市緑化ひろしまフェア

| 名 称 | 時 期 | 場 所 | 内 容 |
|----------|------------------------------------|-------------|----------------------------------|
| スポットイベント | 4~12月 | 安佐動物公園 | 「草花で飾る動物園」P16参照 |
| | 4月15日 ~6月14日 9月21日 ~11月3日 | 植物公園 | 「広島をイメージさせる花による演出」P30参照 |
| | 10月18日 | | 「ひろしまはなのわ2020記念講演会」P36参照 |
| | 7月12日 ~10月18日 | | 「みどりの中で生きもの探検~むし編」P49参照 |
| | 7月23日 ~8月31日 | 昆虫館 | 「植物と虫~助ける助けられる」P50参照 |
| | 10月10日 ~11月3日 | | 「植物と虫~食べる食べられる」P50参照 |
| | 4月1日 ~5月24日 | 紙屋町 シャレオ | 安佐動物公園、植物公園、昆虫館の動物等の写真パネル展示を行った。 |

(ウ) 広報普及

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 |
|-------------|-----|--------------------------------|--------------------|
| ホームページによる広報 | 通 年 | ホームページにより、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。 | アクセス件数 181,751件 |
| マスコミによる広報 | 通 年 | 新聞社を通じて、催し物などの情報を提供した。 | 6件 |

イ 民有地緑化の推進

(ア) 緑化講習会の開催

| 名 称 | 時 期 | 場 所 | 内 容 | 参加者数 |
|---|--------|------------------|--|------|
| 迎春用ハンギングバスケットづくり | 12月10日 | 中央公園 ファミリープール | ハボタン、ビオラなどを使用した迎春用のハンギングバスケットづくりを実演指導した。 | 12人 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 初夏のハンギングバスケットづくり、クリスマスにぴったりの寄せ植え、春の息吹を感じる寄せ植え | | | | |

(イ) 緑のカーテン設置補助金などの交付〔緑化基金事業〕

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 交付件数等 | |
|----------------|-----------------------------------|--|-------|----------|
| | | | 件数 | 金 額 |
| 緑のカーテン設置補助金の交付 | 4月3日 ～5月20日 | 緑のカーテンの設置に要した費用の一部を補助金として交付した。 | 69件 | 392,300円 |
| 魅せる花づくり補助金の交付 | 5月2日 ～6月22日 9月2日 ～10月20日 | 民有地内で多くの人の目に触れる場所（道路に面した場所）において花づくりを行った費用の一部を補助金として交付した。 | 71件 | 565,000円 |
| 記念樹の贈呈 | 7月15日 ～8月31日 | 誕生、入学・卒業、成人、結婚など人生の記念の節目を迎えた者に記念樹（苗木）を贈呈した。 | 150件 | 330,660円 |

(ウ) 緑化指導者の派遣〔緑化基金事業〕

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|----------|-----|---|-----------------------|
| 緑化指導者の派遣 | 通 年 | 緑化に精通した専門の指導者を講習会に派遣し、草花の寄せ植え、育て方などを指導した。 | 開催回数 28回 参加者数 413人 |

(エ) 出版物の発行〔緑化基金事業〕

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 発行部数 |
|--------------------------------------|-----|---|--------|
| ハンドブック 「魅せる花、緑のカーテン つくりかたBOOK」 | 通 年 | 「緑のカーテン設置補助金」や「魅せる花づくり補助金」の利用促進を図り、広島市の推進する「花と緑の広島づくり」に協力するため、緑のカーテン、花壇等の作り方・楽しみ方をまとめたハンドブックを発行・配布した。 | 2,500部 |

ウ 貢献者の表彰〔みどり生きもの協会賞基金事業〕

広島市みどり生きもの協会賞基金の運用益等をもって、次のとおり広島市みどり生きもの協会奨励賞を贈呈した。

<広島市みどり生きもの協会奨励賞>

| 受賞者 | 対象区分 | 功績概要 |
|-------------------------|------|---|
| 花いっぱいキャンパス inふたば・花咲会 | 実務 | 花づくりを介して地域を元気に・明るく・美しくの理念のもと、二葉の里歴史の散歩道の中央に位置する「光が丘山根公園」や「はがきの木広場」などの花壇を整備するとともに、花の植替え作業を継続して行い、市民に潤いと安らぎの場を与えるなど、広島市の緑化推進事業の発展振興に多大な貢献をした。 |

② 動物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けた広島市安佐動物公園における動物の飼育・展示、収集及び飼育管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、手指消毒、三密回避などをお願いするとともに、手すりなど接触部分の消毒等を行った。なお、広島市からの要請で令和2年4月22日～令和2年5月17日、令和2年12月12日～令和3年2月7日の期間は臨時休園した。休園中は、SNSやホームページ等により、動物及び園内施設に関する情報発信を積極的に行うなど、再開時における利用促進につながる活動に取り組んだ。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れやコンクールその他催し物の開催など各種事業を実施し、動物に関する知識及び動物愛護思想の普及、かん養並びに動物愛好者の育成を図った。

ア 動物の飼育・展示など

(ア) 動物の飼育・展示

| 〔展示場所等〕 主な展示動物 | | 内 容 |
|-------------------|----------|---|
| 〔エントランスゾーン〕 | アヌビスヒヒ | サバンナのコピエをイメージしたヒヒ山では、身体能力の高いアヌビスヒヒを群れで展示し、開園時間に給餌を実施するなど社会性が観察できる展示を行った。 |
| | フラミンゴ | 色鮮やかなフラミンゴ4種を群れで混合展示した。展示場内で繁殖行動を観察できる展示を行い、3羽の繁殖に成功した。 |
| 〔アフリカゾーンI〕 | サバンナゾウ | 雌とマルミミゾウを混合展示し、その違いが分かる展示と解説を行った。繁殖を目指しており、交尾を行っていることは確認しているが、妊娠には至っていない。 |
| | マルミミゾウ | ゾウの能力や飼育手法について解説した。マルミミゾウ舎完成後には、雄を導入し繁殖を目指す。 |
| | アミメキリン | 新たに2頭が生まれ、計6頭の群れ展示を行った。足に障害を持って生まれたキリンに対し、広島国際大学と連携して製作した装具による治療を行い完治させた。 |
| | グラントシマウマ | 5月から9月に繁殖した2頭の子どもが順調に成育し16頭となり、国内最大級の群れ展示を引き続き行った。 |

| 〔展示場所等〕 主な展示動物 | | 内 容 |
|-------------------|-------------------------------------|--|
| 〔アフリカゾーンⅡ〕 | チー ター | 敏捷で迫力ある動きをガラス越しに観察できる展示を行った。新たに導入した雄との繁殖を目指したが、交尾に至っていない。 |
| | ク ロ サ イ | 間近まで寄ってくる迫力ある展示を行った。なお、将来にわたって安定的に展示を続けるためには、血統の問題により、海外からの雄の導入を早期に実現する必要があるが、進展させることができなかった。 |
| | ミーアキャット | 穴掘りの様子や日光を浴びて立つ姿を観察できる群れ展示を行った。 |
| 〔サルのなかま〕 | チンパンジー | これまで別々に飼育展示していた大人の雄と雌や若い雄との同居を行い、群れ展示への取り組みを開始した。また、ガラス越しに間近で観察できる放飼場では、高所を自由に素早く移動する姿や、ステンレスの板を鏡として利用する姿など、本種の身体能力や知能の高さが学べる展示を引き続き行った。 |
| | マンドリル | 安定的な群れ展示を行うため、高齢の雄に代わる新たな雄の導入を模索したが、進展させることができなかった。 |
| 〔ピーちくパーク〕 | ポ ニ ー | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、乗馬体験は中止し、展示のみ行った。 |
| | 〔わくわく広場〕 ヤギ、ヒツジ、 ミニブタなど | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ふれあい体験は中止し、展示のみ行った。 |
| | 〔ふれあいスペース〕 テンジクネズミ、 ウサギ | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ふれあい体験は中止し、展示のみ行った。 |
| | 〔インコの森〕 大型インコ類 | 全国的な鳥インフルエンザの流行により、冬季には展示を中止した。また、スマレコンゴウインコについては、新たに雄を導入し同居に成功した。 |
| | 〔ことりの家〕 ベニスズメ、 セイキチョウなど | 全国的な鳥インフルエンザの流行により、冬季には通り抜けを中止し、建物外側からの観覧とした。 |
| | 〔子育ての家〕 オオサンショウウオ、 ヒヨコ、ハツカネズミ | 2年ぶりにオオサンショウウオが産卵し、世界最高齢での産卵記録を更新し、その卵と孵化した幼生を展示した。 |
| | フンボルトペンギン | 定期的に産卵・抱卵したが、孵化までには至らなかった。 |

| 〔展示場所等〕 主な展示動物 | | 内 容 |
|-------------------|------------------------------|--|
| 〔はちゆう類館〕 | 〔1階〕 スローロリス、 コウモリ類など | 活発に動き回る夜行性動物の姿を観察できるよう、照明を暗くした1階には、ムササビなどを展示した。スローロリスについては、新たに導入した雌とのペアによる繁殖を図った。 |
| | 〔2階〕 ニシアフリカコガタワニ、 ヘビなど | 子どもに人気のあるワニやヘビなどの爬虫類のほか、特別天然記念物のオオサンショウウオを屋内展示した。平成30年度に雌が死亡し雄1頭になったニシアフリカコガタワニについては、新たな雌の導入を模索したが進展しなかった。 |
| 〔リクガメ広場〕 | リクガメ類 | 平成30年度に当園では初めて繁殖に成功し、順調に成育しているホウシャガメのほか、インドホシガメ、ケヅメリクガメ、アルダブラゾウガメなど、大小様々なリクガメ類の展示を行った。 |
| 〔アジアの草食動物〕 | マレーバク | 多雨林の環境で生息するマレーバクを展示し、生態や野生における現状について解説した。また、繁殖に向けて雌の導入を模索したが進展しなかった。 |
| | ブラックバック | 半砂漠や乾燥した落葉樹林などに生息するブラックバックを展示した。順調に繁殖し群れ展示を引き続き行った。 |
| 〔日本の動物〕 | キツネ、タヌキ アナグマなど | 身近な動物について学ぶため、広島県内に生息するキツネ、タヌキ、アナグマなどを展示した。 |
| | ツキノワグマ | 自然と人間の関わりを考えるため、広島県内に生息し当園周辺でもたびたび目撃され身近な動物であるツキノワグマを展示した。 |
| 〔大鳥舎〕 | サカツラガン、 オシドリなど | 生息地である湿地や森林の河川に似せた環境で展示を行った。展示の充実に向け繁殖に取り組み、バン4羽が繁殖し順調に成育した。また、全国的な鳥インフルエンザの流行により、冬季には通り抜けを中止し、建物外側からの観覧とした。 |
| 〔西園〕 | ユーラシアカワウソ | 中国系のユーラシアカワウソを飼育している国内施設はごくわずかであり、国内に6頭しかいない中国系亜種の繁殖に取り組んだが、妊娠に至らなかった。 |
| | レッサーパンダ | ブリーディングローンで導入した個体のペアにより繁殖した2頭の子どもが成育し、種保存事業に貢献するとともに展示を充実させた。また、別の雄雌のペアによる繁殖を図った。 |
| | シフゾウ | 繁殖を目指していたが、雌が死亡したため、雄1頭の展示を続けた。 |
| | ニホンカモシカ | 平成30年度に続き、5月にも新たに1頭が誕生し、親子での展示を行った。 |

| 〔展示場所等〕 主な展示動物 | | 内 容 |
|-------------------|---------|--|
| 〔肉食動物ゾーン〕 | ライオン | 強化ガラス（レオガラス）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「レオガラスお食事タイム」など密集につながるイベントは中止した。 |
| | アムールトラ | 強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。平成30年度に導入した雄による繁殖を図った。 |
| | アムールヒョウ | 強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。平成30年度に導入した雄による繁殖を図った。 |

【動物の飼育展示数】

（令和3年3月31日現在）

| 区 分 | 種 類 | 点 数 |
|-----|------|--------|
| 哺乳類 | 56種 | 600点 |
| 鳥類 | 41種 | 706点 |
| 爬虫類 | 34種 | 241点 |
| 両生類 | 3種 | 312点 |
| 魚類 | 10種 | — |
| 合計 | 144種 | 1,859点 |

(イ) 動物の収集及び飼育管理

| 名 称 | 内 容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|---|---|---|---|----|---|---|---|---|----|----|----|---|---|----|----|----|----|---|----|
| 展示動物の維持及び種の保存 | 血統や余剰動物の管理を適切に行い、計画的な繁殖、ブリーディングローンなどにより、展示動物を適正に維持するとともに、保護が必要な動物を飼育し、種の保存を図った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 飼 育 下 繁 殖 | オオフラミンゴ、アミメキリン、ブラッサグエノン、オオサンショウウオ、インドホシガメ、ニホンカモシカ、ナゴヤダルマガエルなど、絶滅危惧種や希少種とされている野生動物の繁殖に成功した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ブリーディングローン | <p>所有権を移転することなく、他園と動物の貸出しや借入れを行うことで、効率的かつ効果的に繁殖を行った。</p> <p style="text-align: right;">(単位：頭)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>哺乳類</th> <th>鳥類</th> <th>爬虫類</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">2年度</td> <td>借入</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>貸出</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全体</td> <td>借入</td> <td>21</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>貸出</td> <td>37</td> <td>22</td> <td>0</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table> <p>2年度借入：スンダスローロリス（恩賜上野動物園）、 コンゴウインコ（名古屋市） 2年度貸出：シマウマ（伊豆アニマルキングダム）</p> | | | 哺乳類 | 鳥類 | 爬虫類 | 合計 | 2年度 | 借入 | 1 | 1 | 0 | 2 | 貸出 | 2 | 0 | 0 | 2 | 全体 | 借入 | 21 | 4 | 1 | 26 | 貸出 | 37 | 22 | 0 | 59 |
| | | 哺乳類 | 鳥類 | 爬虫類 | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年度 | 借入 | 1 | 1 | 0 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 貸出 | 2 | 0 | 0 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全体 | 借入 | 21 | 4 | 1 | 26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 貸出 | 37 | 22 | 0 | 59 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 血統登録・血統管理 | （公社）日本動物園水族館協会が行う血統登録に参画し、希少種の血統管理の会議に出席するなど国内の希少種保全に協力した。スンダスローロリスを導入するなど他園館と協力して希少種の血統管理を行い、血縁の偏りを防いだ。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国際的な動物園間情報ネットワーク（ZIMS）の活用 | 国際的な NGO 団体である「Species360」に加盟し、世界中の動物園における繁殖・診療など飼育管理に関する情報や当園が入手可能な希少動物に関する情報などを継続的に入手した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 動物の飼育管理及び展示環境の改善 | 園内で飼育・展示する動物が健康で長生きできるよう飼育管理を行った。また、動物が本来持つ自然で多様な行動を引き出し、日々生き生きと暮らせるよう、展示環境の改善を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 飼 育 管 理 | 健康状態を良好に保つため、衛生的かつ栄養学的に適切な飼料の配合や給餌、必要に応じた診察や治療、飼育舎の衛生管理を行った。高病原性鳥インフルエンザ対策のため、一部の鳥類を隔離した。また、ネコ科の動物に感染する可能性のある重症熱性血小板減少症候群（SFTS）対策として、マダニ駆除のための薬剤散布や草刈を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 展示環境の改善（環境エンリッチメントの強化） | 生息地の自然環境を考慮し、野生動物が本来持つ行動を引き出すため、展示環境の改善を行った。チンパンジー舎ではタワーをつなぐ橋梁の改修、トラ・ヒョウ舎では遊戯木の刷新、アフリカスイギュウ舎では背搔き棒の更新を行った。また、サル舎等への渡り木の設置、アカゲザル舎等では餌を探させることを目的とした運動場への落ち葉の敷き詰めや遊び道具の設置など、様々な工夫を施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(ウ) 入園料の収受 (利用料金制)

【入園状況】

| 区 分 | | | | 入園者数 | 使用料 | | |
|---------------------------|---------|----|-----------------|-----------------|-------------|-------------|-------------|
| 有料入園者 | 個人 | 大人 | 18歳以上 65歳未満 | 510円 | 127,635人 | 65,093,850円 | |
| | | | 65歳以上 | 170円 | 7,500人 | 1,275,000円 | |
| | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | 170円 | 2,050人 | 348,500円 | |
| | 年間パスポート | 購入 | 大人 | 18歳以上 65歳未満 | 1,560円 | 6,484人 | 10,115,040円 |
| | | | | 65歳以上 | 510円 | 501人 | 255,510円 |
| | | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | 510円 | 11人 | 5,610円 |
| | | 提示 | 大人 | 18歳以上 65歳未満 | - | 21,852人 | -円 |
| | | | | 65歳以上 | - | 1,782人 | -円 |
| | | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | - | 24人 | -円 |
| | 団体 | 大人 | 18歳以上 65歳未満 | 430円 | 1,108人 | 476,440円 | |
| | | | 65歳以上 | 130円 | 44人 | 5,720円 | |
| | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | 130円 | 498人 | 64,740円 | |
| | 優待割引 | 大人 | 18歳以上 65歳未満 | 430円 | 793人 | 340,990円 | |
| | | | 65歳以上 | 130円 | 29人 | 3,770円 | |
| | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | 130円 | 2人 | 260円 | |
| 小 計 | | | | 170,313人 | 77,985,430円 | | |
| 減免等入園者 (小・中学生、社会福祉施設、その他) | | | | 162,202人 | 0円 | | |
| 合 計 | | | | 332,515人 | 77,985,430円 | | |

(エ) 利用促進

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 枚 数 等 |
|--|-----|---|---|
| 年間パスポートの販売 (動物公園・植物公園・ 昆虫館共同事業) | 通 年 | より多くの方に動物公園の魅力に触れる機会を提供するため、植物公園・昆虫館と共通で利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休園した日数については、利用期限を延長する対応を行った。 | 販売枚数 6,996枚 |
| 優待利用券の販売 | 通 年 | 企業や団体の福利厚生や景品などへの利用を目的に優待利用券(入園券引換券+飲み物引換券)を販売し、新たな入園者の獲得に努めた。 | 販売冊数 大人(65歳未満) 1冊 |
| 広島市交通科学館 との相互利用促進 (公財)広島市文化財団共同事業) | 通 年 | 近隣施設の広島市交通科学館と協力して、相手施設の使用済の観覧券又は入園券提示者に団体割引料金を適用し、更なる利用者獲得を図った。 | 792人 |
| 公共交通機関 利用者への特典付与 | 通 年 | 駐車場不足による渋滞対策として、路線バスやアストラムラインを利用して来園した者に対し、売店商品の割引サービスを行い、公共交通機関利用による来園を促進した。 | 918人 |
| 広島駅南口地下広場 柱巻案内看板の設置 | 通 年 | JR広島駅南口広場にある柱に、安佐動物公園行きバス乗り場までを案内する写真看板を設置し、広島駅からバスを利用する来園者の利便性の向上を図った。 | 柱 5か所 写真 延べ5枚 |
| 旅行業者と連携した 観光客の誘致 | 通 年 | 入園者誘致のため、旅行業者が発行するクーポン券利用による入園料の後納の取扱いを行うとともに、当園の広報宣伝を旅行業者に委託した。 | 1件 |
| 外国人観光客誘致の促進 | 通 年 | 英語や中国語のリーフレットを観光案内所を通じて配布することにより外国人観光客の増加を図った。 | 平和記念公園レストハウス観光案内所、JR広島駅南口観光案内所、広島バスセンターなど |
| アニマルカードの進呈 | 通 年 | 天候不順日の来園者に、動物公園オリジナルアニマルカードを進呈し、更なる顧客の獲得に努めた。 | 4,382枚 |
| 電動カートの運行 | 通 年 | 勾配の急な西園等への移動手段として、土・日・祝日に電動カートを運行することとしていた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月18日以降の運行は中止した。 | 4日 201人 |

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 入園者数等 |
|--|--|--|--|
| 草花で飾る動物園 | 4月1日 ~12月28日 | 【全国都市緑化ひろしまフェアスポットイベント】 エントランス付近など園内各所を季節の 草花で装飾した。 | エントランス花の塔など 4か所 |
| 休園日の開園 | 4月2日 7月22日 8月5日 2月10日 | 春休み及び祝日と重なる場合の前日の振 替休園日を開園し、利用者に対するサー ビスの向上及び入園者の増加を図った。 | 565人 126人 259人 577人 計1,527人 |
| 宮島水族館との連携 | 8月1日 ~3月31日 | 宮島水族館と連携し、合同PRイベント とスタンプラリーを実施し、観光客等の 増加を図った。 | 《スタンプラリー参加者》 安佐動物公園 1,191人 宮島水族館 1,322人 |
| 夜間開園 (ナイト・サファリ) | 8月8日 8月9日 8月15日 8月16日 8月22日 8月23日 8月29日 8月30日 | 幻想的な雰囲気醸し出すとともに、昼間 とは異なる動物たちの生態を観察できる よう、園内のライトアップや夕暮れコンサ ートなどを行い、動物公園の魅力を上 せ入園者の増加を図った。 なお、当園駐車場の収容台数を超えた場合 に備え、臨時駐車場及びシャトルバスを借 り上げ、検温、消毒、乗車人数の制限、車 内換気などの感染防止対策を講じること としていたが、当園駐車場だけで収まった ため利用しなかった。 | 夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 965人 1,318人 4,056人 1,816人 3,251人 1,096人 4,423人 1,990人 計18,915人 |
| お客様感謝デーの実施 | 2月11日 | 日頃の利用に感謝して、閑散期である冬期 の祝日を入園料無料の日とし、入園者サー ビスの向上並びに入園者及び収入(駐車料 等)の増加を図った。 | 6,241人 |
| キリンテラスの開放 | 2月14日 ~3月28日 | キリンを上から観察できるキリンテラス は、マルミミゾウ舎新設工事に伴う一部園 路の封鎖により利用できなかったが、キリン の子どもの人気が高いことを受け、工事 を行わない日曜日などに開放した。 | 8日 |
| <p>【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】</p> <p>「ポニー体験乗馬」ポイントカードの発行、がんばれカープ!カープミニ新幹線に乗ろう、 休園日の開園(4月30日)、お客様感謝デーの実施(1月11日)、 安佐動物公園ウオーキング大会(安佐北区役所共同事業)</p> | | | |

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|-------------------------------|-----|---|
| 施設の維持管理 | 通 年 | 入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。動物の排泄物については、園内で堆肥化した上で、農家に提供した。また、動物舎などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。 |
| 利 用 案 内 | 通 年 | 入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット(外国人向けのものを含む)や園内放送などにより利用案内を行った。 |
| 緊急時などの対応 | 通 年 | 傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。 |
| 園内情報の提供 | 通 年 | 園内の各所に工夫を凝らした展示解説板やクイズボード等を設置し、動物に関する知識の普及を図った。また、「きょうの見どころ・イベント」の掲示板上より当日の情報を提供した。 |
| スマートフォン等用園内ガイドアプリを活用したサービスの提供 | 通 年 | スマートフォンやタブレットを活用した入園者の利便性の向上や動物に関する知識の普及を図るため、スマートフォン等用の園内ガイドアプリを運用した。(ダウンロード件数 1,109件) |

(カ) 施設の機能充実

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|----------------------------------|-----|---|
| みどり生きものサポーター・安佐動物公園募金等による施設の機能充実 | 通 年 | 野生動物のありのままの姿が観察できる、より魅力的な施設とするため、チンパンジーの放飼場にある既存のタワーをつなぐ金属製の橋梁を設置し、行動範囲を拡大した。 |

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 回 数 等 |
|---|-----|---|-------|
| 日動水の種保存に関する会議への参加 | 通 年 | (公社)日本動物園水族館協会の種保存に関連した会議に参加し、種保存(繁殖)計画の検討及び調整を行った。 | 9回 |
| 希少動物の保護 | 通 年 | (公社)日本動物園水族館協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄動物を保護した。 | 22点 |
| 姉妹動物園との交流 | 通 年 | ホノルル動物園のオオサンショウウオ飼育担当者と電子メール等による飼育技術交流を行った。 | 1件 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 日本オオサンショウウオの会の活動 | | | |

(イ) 生息域内保全

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 回 数 |
|------------------|-----|--|------------------------------------|
| 生息地における絶滅危惧動物の保全 | 通 年 | 北広島町志路原地区や世羅町小谷の保全団体などとの協働により、オオサンショウウオやナゴヤダルマガエルなど、絶滅に瀕した野生動物の保全活動を行った。また、オヒキコウモリについては、安佐北高等学校の校舎や広島大学歯学部校舎に生息する個体群の調査を行った。 | オオサンショウウオの取組 8回 ナゴヤダルマガエルの取組 5回 |

(ウ) 生息域外保全

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 |
|--------------------|-----|--|-----|
| 生息地以外における絶滅危惧動物の保全 | 通 年 | 国の特別天然記念物であるオオサンショウウオと、希少種であるオヒキコウモリ、キクガシラコウモリやヤマコウモリの飼育、ハヤブサの飼育下繁殖、繁殖行動の調査などに取り組んだ。また、広島県の絶滅危惧種であるナゴヤダルマガエルは、広島県からの受託業務により保全活動に取り組んだ。 | 6件 |

(エ) 動物に関する調査・研究等

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|--|-----|--|
| 動物に関する調査・研究 | 通 年 | 園内の動物や県内の野生動物の生態などについて調査・研究を行い、飼育技術の確立や生息域内・域外保全の推進に努めた。 1 再整備に向けた調査・研究 〔短期的取り組み〕 ・マルミミゾウ舎の建設及び新キリン・シマウマ舎の実施設計において、動物の生態・行動、飼育方法や、構造に関する専門的な情報を提供するなど広島市に協力した。 〔中・長期的取り組み〕 ・キクガシラコウモリ等の小型哺乳類の飼育技術の確立のための飼育施設環境整備を行った。 ・園内に生息しているホンドギツネやムササビの行動について随時調査するとともに、入園者の観察に適したポイントについての研究を行った。 2 繁殖に関する調査・研究 ・他園への聞き取り調査等を行い、チーター、サバンナゾウ、レッサーパンダ等の繁殖に関する調査・研究を行った。 ・希少種であるオヒキコウモリ、ヤマコウモリ、飼育困難種であるキクガシラコウモリ、ニホンノウサギの繁殖に取り組んだ。 |
| 各種資料の収集 | 通 年 | Journal of ZOO and WILDLIFE MEDICINE など動物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、繁殖などの調査・研究に役立てた。 |
| 写真・動画などの制作 | 通 年 | サバンナゾウの繁殖行動、キリンの足の専用装具による治療、シマウマの搬出の様子などを写真・動画等に収録し、飼育技術の向上、継承及び調査・研究に役立て、事業記録として保存した。 |
| 学会・研究会への参加 | 通 年 | 集合形式の学会や研究会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。web形式で開催された(公社)日本動物園水族館協会中国四国ブロック動物園技術者研究会及び中国四国野生動物医療・看護勉強会(11月、3月)に参加した。 |
| オオサンショウウオの調査研究・成果の公開 | 通 年 | 大学・博物館等との共同により、オオサンショウウオの調査研究を推進した。その成果を公開するシンポジウムは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 研究活動発表会(動物園・植物園・昆虫館共同事業) | | |

(オ) 野生動物の救護

| 名 称 | 時 期 | 件 数 | 等 |
|---------|-----|-----|-------------|
| 野生動物の救護 | 通 年 | 哺乳類 | 8件 5種 12点 |
| | | 鳥類 | 47件 20種 68点 |
| | | 爬虫類 | 1件 1種 1点 |
| | | 両生類 | 1件 1種 2点 |
| | | 計 | 57件 27種 83点 |

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 等 |
|--|-----|--|-----------------------|
| クイズ形式ワークシートの園内配布 | 通 年 | クイズ形式のワークシートを年齢層別・テーマ別に作成して園内で配布し、動物への関心や興味を喚起する機会を提供した。 | 配布枚数 12,800枚 |
| 動物クイズラリーの助成 | 通 年 | 遠足時におけるクイズラリーの相談を受け、助言やスタンプの貸出しを行った。 | 4件 |
| 講演会・研修会への講師の派遣 | 通 年 | 大学や団体などの要請に基づいて、職員を講師として派遣し、動物の生態や自然などについて講演した。 | 2件 |
| 教材資料の作製・貸出し | 通 年 | 骨格標本など教材資料を作製し、学校などに貸出した。 | 56件 143点 利用者8,456人 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 ぴーちくパークにおけるふれあい指導、実習生の受入れ、専門学校と連携したイベント実習 | | | |

(イ) 学校教育への協力

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 等 |
|--|-----|--|-------|
| 理科教育での連携 | 通 年 | 近隣にある日浦小学校での理科教育に講師の派遣、園内で体験学習、情報提供等により協力した。 | 1件 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 出前講座、教材生物バザールへの参加 | | | |

(ウ) 市民・団体との協働

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|----------------------------------|-----|---|----------------|
| 動物解説ボランティア | 通 年 | 園内で動物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (解説ボランティア登録人数 40人) | 活動延べ人数 62人 |
| 作業ボランティア | 通 年 | 園内で花づくりなどの作業に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (作業ボランティア登録人数 39人) | 活動延べ人数 491人 |
| Happy Bus 停プロジェクト (呉工業高等専門学校) | 通 年 | 公共交通機関利用による来園と近隣団地のバス路線の利用促進を図るため、学生が近隣団地などと連携して進めてきた動物園前バス停のパネルや園内売店前の時刻表等バス情報の更新などを行った。 | 1件 |

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|--|----------------|---|---|
| 大学・専門学校等との協働 | 通 年 | 大学・専門学校等と動物公園との相互協力により共同研究などを行った。 | 麻布大学 1件 岡山理科大学 1件 神奈川県立博物館 1件 北里大学 1件 岐阜大学 1件 九州大学 1件 京都大学 2件 神戸大学 1件 国立科学博物館 2件 島根大学 1件 東京大学 1件 東京農工大学 1件 東邦大学 1件 名古屋大学 1件 弘前大学 1件 広島大学 3件 広島学院高等学校 1件 宮崎大学 1件 明治学院大学 1件 |
| 「広島市立大学芸術学部日本画展」 | 2月8日 ～2月14日 | 広島市立大学芸術学部の学生が動物公園で描いた動物画や動物のいる風景の作品展を開催した。 | 展示作品数 26点 |
| <p>【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 ボランティアとの共同イベント、がんばれサンフレッチェ広島どうぶつ広場(株)サンフレッチェ広島)、鹿角ストラップづくり((公財)広島市文化財団)、むし・花・ZOO-ZOOふれあい広場(株)広島東洋カープ)、サンちゃんの日警察署長(安佐北警察署)、ドリームナイト・アット・ザ・ズー(ジブラルタ生命保険(株)、わくわく動物園!夏休み思い出づくり(サンスター(株)、サンちゃんの日消防隊長(安佐北消防署)、防災の日関連イベント(国土交通省中国地方整備局、広島県土木建築局、広島市危機管理室)、動物園で計量記念日(広島市計量検査所・(一社)広島県計量協会・広島市計量協会)、秋のグリーンフェア2020「いきものランド」(フェア実行委員会)</p> | | | |

(エ) 広島動物愛好会の活動

会員内訳 (個人会員 : 131 人、家族会員 : 34 家族 130 人、賛助会員 : 4 社)

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|----------------------|--------|--------------------------------------|---------|
| 例 会 (第290回～第293回) | 6月14日 | 「最近の安佐動物公園」(講話) | 33人 |
| | 8月9日 | 「仔キリンと装具」(講話)、園内見学 | 40人 |
| | 10月11日 | 「はちゅう類館の爬虫類」(講話)、園内見学 | 40人 |
| | 2月14日 | 「2020年十大ニュース」(講話) | 34人 |
| 会 誌 の 発 行 | 年6回 | 愛好会の活動や動物公園の出来事などを載せた会誌「ズーミング」を発行した。 | 各回 200部 |
| す づ く り の 送 付 | 年4回 | 動物公園の出来事などを載せた「すづくり」を会員に送付した。 | 各回 200部 |

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|---|--------|---|-------|
| 自 然 観 察 会 | 11月22日 | 臥龍山麓八幡原公園での動植物観察（千町原～霧が谷湿原）や施設見学（高原の自然館）を行った。 （場所 広島県山県郡北広島町八幡原） | 16人 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 例会（4月、12月）、自然観察会（1回分） | | | |

(オ) コンクールその他催し物の開催

a コンクール

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 応募点数等 |
|--|-----------------|--------------------------------------|----------------------|
| 動物作文・詩コンクール | 7月1日 ～9月11日 | 小・中学生を対象に、動物に関する作文・詩を募集し、優秀作品を表彰した。 | 応募 418点 入選 65点 |
| 動物画コンクール | 7月1日 ～9月11日 | 動物公園の動物や園内風景を題材とした動物画を募集し、優秀作品を表彰した。 | 応募 1,278点 入選 230点 |
| 動物写真コンクール | 9月1日 ～11月30日 | 園内の動物や風景などを題材とした写真を募集し、入賞作品を表彰した。 | 応募 263点 入選 41点 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 子ども写生大会(中国新聞社共催)、安佐南区子ども会連合会写生大会(安佐南区子ども会連合会共催)、動物と消防の写生大会(安佐北区子ども会連合会・安佐北消防署共催) | | | |

b 観察会

| |
|--|
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 ダルマガエルの目覚め観察会、モリアオガエル観察会、身近な生き物を観察しよう、あおぞら自然観察会(動物園・植物園・昆虫館共同事業) |
|--|

c 動物教室その他催し物

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|-----------------------------|-----------------|---|----------------|
| 飼育係が動物解説 | 通 年 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入園状況を考慮した上で、密集しないよう時間を決めず随時実施した。 | 未集計 |
| 動物愛称募集 (グラントシマウマ) | 5月12日 ～5月17日 | Twitter を利用して動物の愛称を募集した。(愛称：リッカ) | 応募数 1,953 票 |
| 動物愛称募集 (ニホンカモシカ) | 5月29日 ～5月31日 | Twitter を利用して動物の愛称を募集した。(愛称：サニー) | 応募数 2,271 票 |
| オウム・インコデー特別解説 | 6月14日 | 6月15日の「オウム・インコデー」にちなみ、希少動物であるインコについて解説した。 | 缶バッジ配付 100個 |
| 世界キリンの日イベント ～キリンのことを知ろう～ | 6月21日 | 「世界キリンの日」にちなみ、アミメキリンの解説や啓発パネルの掲示などを行った。 | 缶バッジ配付 100個 |

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|--|---|---|----------------|
| スポットガイド 「Zoo～っとよれば？」 | 6月28日 | 動物の体の特徴的な一部分を入園者に観察してもらう特設ブースを設置した。 | 約200人 |
| 大暑にちなんで動物へ 暑中お見舞い | 7月22日 | 大暑の日に合わせ、ツキノワグマやイノシシにスイカを与えた。 | 参加者数 25人 |
| 動物園でどうぶつぬりえ | 7月26日 | 動物の模様などのぬり絵を通じて、動物に関する知識の普及を図った。 | 40人 |
| 夜の動物園で動物観察 (寄附者対象) | 8月1日 | みどり生きものサポーター等の寄附者を夜の動物公園に招待し、動物たちの夜間特有の行動を観察した。 | 30人 |
| どうぶつウンチ研究室 | 9月13日 | 展示した様々なうんちを観察し、動物による違いや体の仕組みについて解説した。 | 約200人 |
| レッサーパンダの日 動物解説 | 9月19日 | 9月の第3土曜日が「国際レッサーパンダデー」であることにちなみ、レッサーパンダの生態などについて紹介し、缶バッジを配布した。 | 缶バッジ配布 100個 |
| 動物たちの敬老の日 | 9月21日 | 敬老の日に、長寿動物を紹介する特設ブースを設置して、パネル展示を行うとともに、記念品を配布した。また、9月12日～22日には各獣舎前に長寿の表彰状を掲示した。 | 約500人 |
| 世界サイの日 クロサイのことを知ろう | 9月22日 | 「世界サイの日」にちなみ、クロサイの生態や野生の現状について紹介した。 | 缶バッジ配布 100個 |
| サンちゃんデー | 10月4日 | オオサンショウウオの幼体を展示し、缶バッジを配布した。 | 缶バッジ配布 100個 |
| 動物の毛皮を見てみよう | 11月3日 | 展示した様々な毛皮を観察し、動物による違いや体の仕組みについて解説した。 | 約100人 |
| 動物愛称募集 (アミメキリン) | 12月13日 ～12月20日 | Twitterを利用して動物の愛称を募集した。(愛称:アカリ) | 応募数 2,343票 |
| まんが動物園 & 動物まんがクイズラリー | (漫画展示) 2月1日 ～2月28日 (クイズラリー) 2月14日 2月21日 2月28日 | 飼育係が描いたまんが解説パネルを展示し、そのまんがを題材にしたクイズラリーを行った。 | 1,500人 |
| <p>【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 バックヤードガイド、サンちゃんツアー(オオサンショウウオ保護増殖施設ガイドツアー)、飼育の日イベント「飼育係あるあるとおーっく」、スマートフォンアプリダウンロード促進イベント、世界バクの日イベント、ヒツジの毛刈り、動物観察えさやり体験デー、世界カワウソの日イベント、サマースクール、Zoo cafe(飼育係と動物トーク)、はたらく動物に感謝の日、おとなのための飼育体験教室、もうすぐクリスマス安佐動物公園からプレゼント、元気に冬越し冬至はかぼちゃ、動物園でしめ飾り作り体験、干支の動物缶バッジをプレゼント、干支の動物がお出迎え、新春動物かるたで遊ぼうよ!、オリジナル缶バッジを作ろう、動物脱出対策公開訓練、親子動物教室、動物公園春まつり・秋まつり・冬まつり</p> | | | |

(カ) 学校教育活動の受入れ

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|--|-----|---|-------------|
| 動物レクチャー・体験型環境学習プログラム | 通 年 | 小・中・高校生を対象に、動物科学館2階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。 | 13件 555人 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 なかよし動物教室、職場体験の受入れ、進路総合学習の受入れ | | | |

(キ) 企画展その他展示会の開催

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|--|-------------------|---|
| 動物写真コンクール入賞作品展 | 7月1日 ～8月23日 | 前年度の「動物写真コンクール」の入賞作品を展示した。 |
| 素顔の動物写真展 | 9月12日 ～10月25日 | 動物たちのありのままの表情を紹介する写真展を開催した。 |
| 動物画コンクール入賞作品展 | 10月31日 ～11月23日 | 「動物画コンクール」の入賞作品を展示した。 |
| 市民公募展「カワセミとその仲間たち」写真展 | 2月20日 ～3月21日 | 小西秀信氏によるカワセミ、ブッポウソウ、アカショウビン、ヤマセミの写真を展示した。 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 動物たちと消防の写生大会入賞作品展、こども写生大会入賞作品展 | | |

(ク) 広報普及

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 |
|--|-----|---|---|
| マスコミによる広報 | 通 年 | テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物や赤ちゃん誕生などの話題を広報した。 | 広報件数 33件 取材件数 209件 《取材件数の内訳》 テレビ 94件 ラジオ 41件 新聞 63件 その他 11件 |
| 動物写真パネル等の貸出し | 通 年 | 動物の写真パネルやまんがを公共施設や事業所などに貸し出し、これらの場所を動物公園のPRの場とした。 | 7か所 154点 |
| ホームページによる広報 | 通 年 | ホームページにより施設の紹介、催し物、赤ちゃん誕生などの最新情報を提供した。 | 182件 |
| Twitterによる広報 | 通 年 | 情報共有力・拡散力の高いTwitterにより、施設、イベントなどの魅力ある情報を速やかに発信した。 | 878件 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 近隣区市町訪問広報、動物レクチャー・体験型環境学習プログラムの普及、観光事業所との連携、催し物案内ポスター・PR用チラシの配布、マスコットキャラクターを利用したPRの実施、動物解説広場の実施、保育園・幼稚園・小学校へのPR、近隣団地へのPR、公共交通機関利用者へのPR | | | |

(ケ) 出版物の発行

| 名 称 | 内 容 | 発行部数 |
|-----------------------------------|---|------------------------------------|
| 「す づ ぐ り」 「飼 育 記 録 集」 「年 報」 | 動物公園のニュース、動物の飼育記録や生態などを紹介した「すづぐり」及び飼育動物の生態に関する研究や飼育技術などについての発表をまとめた「飼育記録集」などを発行、配布し、動物に関する知識の普及や動物園事業の周知を図った。「年報」についてはホームページ上で公開した。 | すづぐり 4回計4,400部 飼育記録集 220部 |

(コ) 動物に関する相談

| 名 称 | 時 期 | 件 数 |
|---------|-----|---|
| 動 物 相 談 | 通 年 | 飼育相談 13件 野生動物の救護 10件 引取依頼 48件 有害鳥獣の駆除対策 12件 その他一般相談 68件 計 151件 |

③ 植物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けた広島市植物公園における植物の栽培・展示、収集及び栽培管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、手指消毒、三密回避などをお願いするとともに、手すりなど接触部分の消毒等を行った。なお、広島市からの要請で令和2年4月22日～令和2年5月17日、令和2年12月12日～令和3年2月7日の期間は臨時休園した。休園中は、ホームページ等により、植物及び園内施設に関する情報発信を積極的に行うなど、再開時における利用促進につながる活動に取り組んだ。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや講座その他催し物の開催など各種事業を実施し、植物に関する知識及び植物愛好心の普及、かん養並びに植物愛好者の育成を図った。

ア 植物の栽培・展示など

(ア) 植物の栽培・展示

| 〔展示場所〕 主な展示植物 | 内 容 |
|-----------------------------------|--|
| 〔大温室〕 ヤシ、ラン、オーストラリアバオバブ、熱帯果樹など | 最高部が21mある温室の大きさを活かし、巨大な熱帯植物とそれらが醸し出す熱帯の雰囲気を感じられる展示を行った。立体交差やバリアフリー対策を施した通路から観賞しやすいよう、熱帯の水辺、熱帯の花、熱帯の果実などにゾーニングしたエリアに約700品種5,000株の亜熱帯、熱帯植物を効果的に展示した。また、シンボルツリーとして導入した国内最大のオーストラリアバオバブを活用してタッチングイベントを10月に行った。 |
| 〔サボテン温室〕 サボテンなど | サボテン類や多肉植物約320品種500株を科ごとに分けて植栽し、説明板や写真パネルを付けて展示した。乾燥地に適応した特異な形態や植物の適応戦略の面白さを知ること、生き物に対する興味の高揚を図った。 |
| 〔熱帯スイレン温室〕 熱帯スイレンなど | 多彩で美しい花を咲かせる約30品種100株の熱帯スイレンを植栽し、エキゾチックな憩いの空間を提供した。また、巨大な葉を持つオオオニバスを展示して夏休み期間中に試乗体験会を行ったほか、子どもに人気の高いウツボカズラやハエトリグサなどの食虫植物を、模型や解説パネルを交えて展示するコーナーを設けるなど、子どもが植物に興味を抱くきっかけ作りの場とした。 |
| 〔ベゴニア温室〕 球根ベゴニアなど | 季節を問わず美しい花を楽しむことのできる癒しの空間を提供するために冷暖房と電気照明設備を活用し、世界で最も美しい花の一つと言われる球根ベゴニアを周年開花させ、680品種の様々なベゴニアと合わせて展示した。また、球根ベゴニアの生育過程を解説展示することで、植物を育てることに興味を抱く機会を提供した。 |

| 〔展示場所〕 主な展示植物 | 内 容 |
|--|---|
| 〔フクシア温室〕 フクシア、野生ランなど | 風鈴のようにチャームな花を咲かせるフクシア約260品種300鉢を周年展示し、非日常的な植物の美しさを楽しむ場とした。また、野生ランコーナーでは当園の主要なコレクションである世界の野生ランを、解説パネルなどを交えて展示し、ランの不思議な世界を觀賞できる機会を提供した。 |
| 〔カスケード〕 インパチエンス、ペチュニアなど | 年間2,000基以上のプランターやコンテナを設置し、季節を代表する草花を展示して家庭園芸の見本とした。全国都市緑化ひろしまフェアのスポットイベントとして広島をイメージさせる赤、紫色を基調とした装飾を行った。 |
| 〔展示温室〕 ゼラニウムなど | 世界のラン、ゼラニウム、セントポーリアとイワタバコの仲間、食虫植物、薬用植物、変化アサガオなど植物公園が保有するコレクションと、近郊の愛好家が出品するウチョウラン、サボテンなど、季節にふさわしい植物を年間12回展示した。 |
| 〔芝生広場〕 サクラなど | 入園者の憩いの場、語らいの場のほか、子どもの遊び場として利用した。また、周辺にはサクラ類、マンサク、ロウバイ、アズナギ草などの花木類を植栽・展示し、早春から春のベストシーズンにかけて見頃となるゾーンとした。 |
| 〔花の進化園〕 スイレン科、ユリ科、 キク科、ラン科など | 種子植物を科ごとにまとめて植栽し、分類や進化の説明をつけて展示することにより、入園者が実物を観察しながら、花の進化について理解を深める場とした。 |
| 〔屋外展示場〕 クレマチス、山野草など | 愛好家が出品するクレマチス、山野草のほか、サクラソウ、アジサイ、中国ギクなど植物公園の収集・保存の成果を紹介・展示した。 |
| 〔ロックガーデン〕 うらら池散歩道 里山の野草園 エーデルワイス、ナミキソウ、 セツブンソウ、ヒゴタイ、 ヤチシャジンなど | ロックガーデンには高山や海岸といった厳しい環境に適応した種を、うらら池の散策路沿い及び里山の野草園には主に広島県内の林床、草原、水辺など里山の環境に自生する種を植栽・展示した。野生植物の多様な姿や絶滅危惧植物を紹介し、植物の自生状態や自然保護への関心を促した。 |
| 〔休憩展望塔から〕 うらら池湖畔 アジサイ | 休憩展望塔西側斜面からうらら池東側斜面にかけてアジサイを順次追加植栽し、既存の日本庭園周辺とあわせてアジサイをめぐる回廊をつくることによって、梅雨頃の魅力アップを図った。 |
| 〔バラ園〕 バラ | 広島市に寄贈された品種、野生種、オールドローズや古花と呼ばれる希少な園芸品種の植栽展示に力を入れることで他のバラ園との差別化を図り、バラの遺伝子資源の保全に貢献した。また、適所に新品種を配置し、バラに包まれたくつろぎの空間を提供した。 |
| 〔ツバキ園〕 ツバキなど | 季節感に溢れ、日本が世界に誇る園芸植物の一つであるツバキを植栽・展示した。周囲には、サザンカ類、ヒメシャラなどの野生種や、タイワンフウ、イロハモミジ、ニッサなど紅葉の美しい樹木を植栽し、秋から冬にかけての見どころとした。また、エリア内に設置しているバタフライガーデンにはチョウを引き寄せるフジバカマなどの植物を植栽し、憩いの空間を提供した。 |
| 〔日本庭園〕 ウメ、ハナショウブ、 アジサイなど | 本格的な茶室を中心に、ウメ、ハナショウブ、アジサイ、モモ、ミヤコワスレ、サツキなど和風の植物を植栽し、落ち着いた雰囲気にくつろげる空間を提供した。ハナショウブ園では後世に伝えたい古花の展示に努め、江戸期に育成された古花を中心に1,000株を展示するなど、他の大規模なハナショウブ園との差別化を図った。また、最奥部では自生地に近い環境を生かし、ヤマアジサイ、エビネの植栽展示を行った。 |

| 〔展示場所〕 主な展示植物 | 内 容 |
|-----------------------------------|---|
| 〔樹林観察園〕 シイ類、ブナ、カエデ類など | 西南日本の常緑広葉樹林と落葉広葉樹林の構成種を植栽し、これらの樹林の環境や樹木について現地に行くことなく体感、学習できる場を提供した。 |
| 〔こども花壇〕 コスモスなど | 春にネモフィラ、夏にヒマワリ、秋にコスモスを植栽し、写真撮影の素材になりうる風景を提供した。 |
| 〔展示資料館壁面〕 〔通路スペースなど〕 ヨルガオなど | 企画展示・講演会等への誘導及び快適な園内散策となるよう、効果的な植栽を行った。 |

【植物の栽培展示数】

(令和3年3月31日現在)

| 区 分 | 種 類 | 本 数 |
|-----------------|----------|-----------|
| 大 温 室 | 700 品種 | 5,000 本 |
| サ ボ テ ン 温 室 | 320 品種 | 500 本 |
| 熱 帯 ス イ レ ン 温 室 | 95 品種 | 600 本 |
| ベ ゴ ニ ア 温 室 | 680 品種 | 2,000 本 |
| フ ク シ ア 温 室 | 300 品種 | 370 本 |
| 栽 培 温 室 | 3,900 品種 | 32,500 本 |
| バ ラ 園 | 700 品種 | 1,000 本 |
| ツ バ キ 園 | 200 品種 | 600 本 |
| 花の進化園、樹林観察園その他 | 3,100 品種 | 154,430 本 |
| 合 計 | 9,995 品種 | 197,000 本 |

(イ) 植物の収集及び栽培管理

| 名 称 | 内 容 |
|---------------|---|
| 展示・保存植物の維持、充実 | 計画的な増殖や種子・種苗の交換などにより、展示植物や保存植物の維持、充実を図った。 |
| 栽培下における増殖 | サクラソウ、ハナショウブ類など希少な植物や、球根ベゴニアやフクシアなど周年展示している展示上重要な植物の増殖を行った。 |
| 種子・種苗の交換 | 国内外の植物園などと種子の交換を行い、多くの植物を収集して、貴重な種の保存を行うとともに、育苗して植栽・展示し、植物に関する知識の普及を図った。 譲受け : 2か国 2か所 9種 譲渡し : 国内6施設 17種 |
| 種苗の導入 | ランの原種やバオバブなどの珍しい植物のほか、市場などの情報調査によって、季節ごとに展示する魅力ある植物を導入した。 |
| 植物の栽培管理 | 生育状態を良好に保ち、病虫害被害の発生を未然に防ぐため、品種ごとに灌水、施肥、剪定、温度・湿度の管理、必要に応じた薬剤散布などを適切に行い、栽培環境の向上を図った。 |

(ウ) 入園料の収受 (利用料金制)

【入園状況】

| 区 分 | | | | 入園者数 | 使用料 | | |
|---------------------------|---------|----|-----------------|-----------------|-------------|-------------|------------|
| 有料入園者 | 個人 | 大人 | 18歳以上 65歳未満 | 510円 | 32,457人 | 16,553,070円 | |
| | | | 65歳以上 | 170円 | 17,460人 | 2,968,200円 | |
| | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | 170円 | 350人 | 59,500円 | |
| | 年間パスポート | 購入 | 大人 | 18歳以上 65歳未満 | 1,560円 | 1,844人 | 2,876,640円 |
| | | | | 65歳以上 | 510円 | 1,498人 | 763,980円 |
| | | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | 510円 | 9人 | 4,590円 |
| | | 提示 | 大人 | 18歳以上 65歳未満 | — | 9,385人 | —円 |
| | | | | 65歳以上 | — | 6,278人 | —円 |
| | | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | — | 22人 | —円 |
| | 団体 | 大人 | 18歳以上 65歳未満 | 430円 | 77人 | 33,110円 | |
| | | | 65歳以上 | 130円 | 32人 | 4,160円 | |
| | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | 130円 | 0人 | 0円 | |
| | 優待割引 | 大人 | 18歳以上 65歳未満 | 430円 | 17人 | 7,310円 | |
| | | | 65歳以上 | 130円 | 10人 | 1,300円 | |
| | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | 130円 | 0人 | 0円 | |
| 小 計 | | | | 69,439人 | 23,271,860円 | | |
| 減免等入園者 (小・中学生、社会福祉施設、その他) | | | | 46,344人 | 0円 | | |
| 合 計 | | | | 115,783人 | 23,271,860円 | | |

(エ) 利用促進

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 入園者数等 |
|---------------------------------|-----|---|----------------|
| 年間パスポートの販売 (動物園・植物園・昆虫館共同事業) | 通 年 | より多くの方に植物公園の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・昆虫館と共通で利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。 | 販売枚数 3,351枚 |
| 電動カートの運行 | 通 年 | 毎週土・日曜日、祝日に勾配のある園内の移動手段として、電動カートを巡回し、入園者サービスの向上を図った。 | 6,532人 |
| カープフォトラリー | 通 年 | 花束を贈る習慣のある日(母の日、父の日、敬老の日、バレンタイン等)や大きなイベント時(さくらまつり、全国都市緑化ひろしまフェア、秋のグリーンフェア等)に園内3か所に配置したカープ選手看板と一緒に写した写真3枚を提示する入園者に景品を進呈した。 | 7,500人 |

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 入園者数等 |
|---|---|---|--|
| 休 園 日 の 開 園 | 4月3日 4月10日 7月22日 10月23日 2月26日 | さくらまつり、サマーフェア、秋のグリーンフェア、春の特別ラン展期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上を図った。 | 225人 93人 40人 304人 238人 計 900人 |
| 広島をイメージさせる花による演出 | 4月15日 ～6月14日 9月21日 ～11月3日 | 【全国都市緑化ひろしまフェアスポットイベント】 春は広島カーブをイメージさせる赤色、秋はサンフレッチェ広島をイメージさせる紫色を基調とした花を集め、広島らしさを演出する展示をカスケードにおいて実施した。 | 春 10,376人 秋 26,065人 |
| サマーフェア | 7月11日 ～8月31日 | 夏休み期間中を中心に、芝生広場での巨大噴水迷路などを実施し、入園者の増加を図った。 | 17,117人 |
| 夜 間 開 園 | 8月29日 8月30日 9月5日 9月12日 9月13日 11月28日 11月29日 12月5日 12月6日 3月27日 | 夜に開花する植物(オオオニバス・サガリバナ・月下美人)、夜に香る植物(夜香木、夜来香)、桜などのライトアップや、キャンドルとイルミネーションを使った幻想的な空間づくり、コンサートなどを行い、植物公園の魅力を向上させ、入園者の増加を図った。 | 夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 777人 223人 1,217人 501人 869人 957人 654人 1,422人 722人 1,586人 計 8,928人 |
| 盆栽の新しい楽しみ方！ 盆栽シルエット | 9月5日 9月12日 9月13日 | 照らされたスクリーンをバックに盆栽のシルエットを映し出し、夜間開園の魅力を向上させ、入園者の増加を図った。 | 夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 1,217人 501人 869人 |
| 秋のグリーンフェア 会場としての利用 | 10月17日 ～10月25日 | 秋のグリーンフェアの会場として期間中の入園料を無料とし、入園者サービスの向上並びに入園者数及び収入(駐車料など)の増加を図った。 | 12,586人 |
| 開園記念日記念行事 | 11月3日 | 開園44周年を記念し、オリエンテーリング、記念講演会など様々なイベントを実施した。 | 2,114人 |
| 春の特別ラン展 | 2月20日 ～2月28日 | 大温室内にランの愛好団体や生産者による展示ブースを設けるとともに、洋ランを大規模に展示した。あわせて、各種関連イベントを開催した。 | 13,526人 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 さくらまつり、青のネモフィラ花壇、みどりの日・植物園の日記念行事、 区民ウォーキング大会 in 植物公園(佐伯区役所共同事業)、バレンタインフェスティバル | | | |

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|----------|-----|---|
| 施設の維持管理 | 通 年 | 入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、温室などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。 |
| 利 用 案 内 | 通 年 | 入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。 |
| 緊急時などの対応 | 通 年 | 傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。 |
| 樹木ラベルの充実 | 通 年 | 樹木ラベルの追加・更新、雌雄の表示を行った。 |

(カ) 施設の機能充実

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|--------------------------------|-----|---|
| みどり生きものサポーター・植物公園募金等による施設の機能充実 | 通 年 | 植物を観察し学習できる場を入園者に提供するため、寄附金等を活用して、全ての世代が植物観賞の合間も楽しく過ごせる環境づくりを行った。 |

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 |
|---------|-----|--|----------------------|
| 希少植物の保護 | 通 年 | (公社)日本植物園協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄植物を保護した。 | 51 件 (前年度からの継続含む) |

(イ) 生息域内保全

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 |
|------------------|-----|--|-----|
| 生息地における絶滅危惧植物の保全 | 通 年 | 世羅郡世羅町など広島県内の自生地において、絶滅に瀕したヤチシャジンの調査や保全活動を行った。 | 3 件 |

(ウ) 生息域外保全

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 種 数 等 |
|--------------------|-----|---|-------------------------------|
| 生息地以外における絶滅危惧植物の保全 | 通 年 | 様々な野生ラン、ヤチシャジン、ヒゴタイなど広島県内産種を中心に、日本の絶滅危惧植物を保全した。また、(公社)日本植物園協会の多様性保全拠点園事業に参加し、「植物多様性保全2020年目標」達成に貢献した。 | 日本産 120種 ワシントン条約 98種 |
| 園芸植物遺伝子の保護 | 通 年 | 変化アサガオ、日本サクラソウ、ゼラニウムやバラの古い園芸品種など、保護が必要な園芸植物を栽培・保存した。(公社)日本植物園協会が行うナショナルコレクション検討委員会に参加し、「植物多様性保全2020年目標」達成に貢献した。 | 66種 約400系統 検討会 3件 |

(エ) 植物に関する調査・研究

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|--|-----|--|
| 植物に関する調査・研究 | 通 年 | 《植生調査》 主に県内の植物分布などの調査を行い、希少植物や分布上貴重な植物について、自生状況を記録するとともに保護に努めた。 |
| | | 《成果の公表》 植物に関する調査・研究活動により得られた知見を学会や印刷物により公表した。 |
| 新品種の保護 | 通 年 | 農林水産省からの依頼による、種苗法に基づく新規出願品種の現地調査員、種苗登録に関する基準案作成検討委員としての活動により、新品種の保護に努めた。 |
| 各種資料の収集 | 通 年 | 植物の標本及び植物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、栽培や調査・研究に役立てた。 |
| 植物標本の活用 | 通 年 | 広島県内の植物標本庫における相互ネットワークを構築し広島大学などの県内の標本庫と情報交換を行った。 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 研究活動発表会(動物園・植物園・昆虫館共同事業) | | |

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 等 |
|---------------------|---------------|---|----------------------|
| 講習会・研修会などの開催及び講師の派遣 | 通 年 | 団体の要請に基づいて、随時、植物公園で講習会・研修会などを開催するとともに、職員を講師として派遣した。 | 4 件 |
| 実習生の受入れ | 通 年 | 大学生などを受け入れ、博物館実習(学芸員実習)などを行った。 | 6 件 7 人 |
| 森の幼稚園を活用した保育者指導 | 6月7日 10月4日 | 幼児教育の専門家を招き、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。 | 3 組 9 人 20 組 60 人 |

(イ) 市民・団体との協働

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 活動者数等 |
|--------------------|-----|--|---|
| 植物解説ボランティア | 通 年 | 園内で植物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (解説ボランティア登録人数：57人) | 活動延べ人数 649人 |
| 植物管理ボランティア | 通 年 | 園内で植物管理に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (管理ボランティア対象人数：103人) | 活動延べ人数 90人 |
| 地域団体などとの協働 | 通 年 | 造幣局広島支局「花のまわりみち」の桜樹育成指導や文化活動などにより、地域の活性化を図った。また、(公社)日本植物園協会総会の開催や展示協力などを行った。 | 23件 《内訳》 造幣局樹育成指導 3件 造幣局樹育成指導 7件 造幣局樹育成指導 6件 広島県ラン展 1件 日本農業教育会 広島大会 6件 |
| グリーン・レガシー・ヒロシマへの協力 | 通 年 | 被爆樹木の種子を国内外の都市へ送付する活動に対し、種子の保存や送付の協力を行った。また、被爆樹木のラベル取付作業に協力した。 | 35件 |

【愛好者団体による展示会】

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|----------------------|-------------------|---|
| 初夏の小品盆栽展 | 6月6日 ～6月8日 | フウチソウやツツジなど、初夏に見頃の植物を小鉢仕立てで展示した。 |
| ウチョウラン展 | 6月13日 ～6月18日 | 初夏に可憐な花を咲かせる小型の野生ランであるウチョウランを岩付けや大鉢作りで展示した。 |
| おし花美術作品展 | 8月8日 ～8月31日 | 身近な草花や花木を素材としたおし花の美術作品を展示した。 |
| 私の好きな花たちの写真展 | 9月5日 ～10月8日 | 身近な植物を題材とした写真を展示した。 |
| 秋の山野草展 | 10月3日 ～10月8日 | 秋咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。 |
| 野生きのこ展 | 10月10日 ～10月25日 | 広島県に自生する様々なキノコを展示した。 |
| サボテン展 | 10月10日 ～10月25日 | 変化に富んだサボテンや多肉植物を展示した。 |
| ハンギングバスケット・コンテナ作品公募展 | 10月24日 ～11月3日 | 一般公募によるコンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを展示した。 |
| ハンギングバスケット展 | 10月24日 ～11月3日 | ハンギングバスケットを展示し、作り方などを紹介した。 |
| 寒 蘭 展 | 11月11日 ～11月16日 | 東洋蘭の中でも特に清楚で気品のある寒蘭を展示した。 |
| 植物写真コンテスト作品展 | 1月9日 ～1月24日 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により中止(休園)のため、HPで公開した。 |

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|--|-----------------|--|
| カカオとチョコの秘密展 | 2月8日 ～2月14日 | チョコレートの歴史と作り方、カカオの秘密をパネルで紹介した。 |
| クリスマスローズ展 | 2月20日 ～2月28日 | 多彩な花色と品種に人気があるクリスマスローズを展示した。 |
| フラワーデザイン展 | 2月20日 ～2月28日 | 切り花やドライフラワーなど様々な素材を生かしたフラワーデザインの作品を展示した。 |
| 「草木染の世界」展 | 3月6日 ～3月31日 | 草木を使った染物と染色に利用される植物などを展示した。 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 エビネ展、春の山野草展、クレマチス展、セッコク・長生蘭展、趣味のボタニカルアート展、 遅咲きクレマチス展、ボタニカルアート教室作品展、新春小品盆栽展、おもと(万年青)名品展 | | |

(ウ) 植物友の会の活動

会員内訳（個人会員：71人、家族会員：16家族32人）

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数 |
|-----------|--------|---|---|
| 会 誌 の 発 行 | 年 4 回 | 植物の話題や友の会の活動、植物公園の出来事などを載せた会誌「はなの輪」を発行した。 | 春号 300冊 夏号 300冊 秋号 300冊 冬～初春号 300冊 |
| 例 会 | 7月19日 | 夏の園芸作業、見ごろの植物解説 | 25人 |
| | 9月13日 | 秋の園芸作業、行事報告、見ごろの植物解説 | 30人 |
| | 11月15日 | 講話「日本アルプスの山々と高山の植物」、特別企画展解説 | 33人 |
| | 3月6日 | 冬～春の園芸作業、見ごろの植物解説 | 28人 |
| 野 外 観 察 会 | 10月11日 | 市内の被爆樹木の観察を行った。 (場所 広島県広島市) | 10人 |
| | 11月8日 | 新牛田公園バラ園で見ごろの秋バラの観察を行った。(場所 広島県広島市) | 4人 |

(エ) 講座その他催し物の開催

a 講座

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数 |
|------------------------|-------|----------------------------------|------|
| 暮らしに役立つ ハーブ講座 | 6月27日 | ハーブの健康フルーツ酒など | 13人 |
| | 7月4日 | 手作り家具用ワックスとお掃除クリーナーなど | 12人 |
| | 7月11日 | たまごの殻の室内香など | 12人 |
| 市 民 講 座 暮らしに活かす薬草 | 9月21日 | 出雲國風土記掲載植物や日々の暮らしに利用しやすい植物を紹介した。 | 55人 |
| ガーデニング講座 ～基礎から応用まで～ | 10月3日 | ハンギングバスケットの寄せ植え | 20人 |
| | 12月5日 | 寄せ植えコンテナ作り | 21人 |

b 講習会・実演会

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|---|---|---|---------------------------------|
| 小品盆栽実演会 | 6月6日 | 小品盆栽の仕立て方、育て方について実演指導した。 | 11人 |
| アジサイ実演会 | 6月7日 6月13日 | アジサイの育て方について実演指導した。 | 28人 18人 |
| ハナショウブ実演会 | 6月14日 | ハナショウブの育て方について実演指導した。 | 18人 |
| 季節の園芸講座 | 7月5日 8月22日 10月17日 | 趣味の園芸講師の本園職員島田専門員による季節を彩る草花を存分に楽しむためのとっておきの方法を年3回シリーズで解説した。 | 28人 22人 42人 |
| 食虫植物実演会 | 8月2日 8月10日 | 食虫植物を紹介し、栽培方法や魅力について実演指導した。 | 45人 21人 |
| 木育ワークショップ —初級編—「はし」から見える木の世界 | 8月8日 9月19日 | 丸太から世界に1つだけのマイ箸作りを通して、楽しみながら森林や木材に触れ、学んだ。 | 1人 10人 |
| 木育ワークショップ —小さな子どもに贈る木のスプーンづくり | 9月12日 9月27日 | 木のスプーンづくりを通じて木材を身近に感じるとともに、広島県の森林や木の持つ力について学んだ。 | 5人 6人 |
| 植物写真撮影講習会 | 9月20日 | 植物の写真の撮り方について指導した。 | 15人 |
| 秋の山野草実演会 | 10月4日 | 秋の山野草の栽培方法について実演指導した。 | 21人 |
| 寒 蘭 実 演 会 | 11月15日 | 寒蘭の育て方について実演指導した。 | 8人 |
| クリスマスリース作り講習会 | 11月22日 | クリスマスリースの作り方について指導した。 | 40人 |
| クリスマスローズ実演会 | 2月20日 2月21日 2月23日 2月27日 2月28日 | クリスマスローズの育て方について実演指導した。 | 38人 48人 50人 45人 39人 |
| 洋 ラ ン 実 演 会 | 2月21日 2月23日 2月27日 2月28日 | 洋ランの育て方等について実演指導した。 | 28人 18人 20人 24人 |
| フラワーデザイン実演会 | 2月23日 | フラワーデザインの制作過程の見学を行った。 | 60人 |
| 洋ラン栽培講習会 | 3月21日 | 展示に使用したランを使った講習会を行った。 | 98人 |
| <p>【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 さくら写真撮影講習会、春の山野草実演会、エビネ実演会、クレマチス実演会、セッコク実演会、ボタニカルアート色付け講習会、ハーブ実演会、バラ講習会、カカオニブ磨砕実演会、おもと(万年青)実演会、草木染講習会、椎茸栽培講習会</p> | | | |

c 講演会・展示解説

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数 |
|---|------------------------|--|------------------|
| 季節の花物語 | 8月1日 9月22日 2月20日 | 多くの人に親しまれ、季節の到来を感じる花に隠されたエピソードを、年3回シリーズで職員が紹介した。 | 7人 25人 61人 |
| 変化朝顔展解説 | 8月23日 | 変化朝顔展の展示と変化アサガオの育て方について解説した。 | 27人 |
| 薬用植物展示解説 | 9月13日 | 薬用植物展に出品している植物について解説を行った。 | 40人 |
| サボテン展解説 | 10月11日 | サボテン展の解説を随時行った。 | 170人 |
| ひろしまはなのわ 2020 記念講演会 | 10月18日 | 【全国都市緑化ひろしまフェアスポットイベント】 「よみがえった被爆地の花とみどり」と題して、中越信和氏による講演を行った。 | 20人 |
| ハンギングバスケット・ コンテナ作品公募展解説 | 10月25日 | ハンギングバスケット・コンテナ作品のコツやポイントの解説を行った。 | 9人 |
| 被爆樹木展講演会 | 11月23日 | 「被爆樹木を守る」と題して、堀口力氏による講演を行った。 | 52人 |
| 「草木染の世界」展 ギャラリートーク | 3月7日 | 「草木染の世界」展の作品などについて解説した。 | 22人 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 ハーブ展解説、木育に関する講演会、カカオニブ講演会 | | | |

d コンクール

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数 |
|--|-----------------|--|---------------------|
| 植物写真コンテスト | 9月1日 ～11月30日 | 植物公園の植物や園内風景を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。 | 応募 409点 入選 58点 |
| ラン審査会 | 10月31日 2月19日 | ランの栽培技能の向上を図るため、ラン展展示協力団体から出品されたランを審査し、優秀作品を表彰した。 | 12人 64点 31人 194点 |
| 写生大会 (佐伯区役所(市民部地域起こし 推進課)・アートフェスタ 佐伯区実行委員会共催) | 11月1日 | 幼児(幼稚園・保育園児等)、小学生、中学生及び一般(高校生以上)を対象に、植物公園の植物や園内風景を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。 | 応募 196点 入選 18点 |

e 観察会

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数 |
|---|-------------------------|---|---|
| 園 内 生 き 物 探 訪 | | 外部講師及び本園職員による生き物観察を行った。 | 合計 445 人 |
| モリアオガエル観察会 | 6月6日 | 園内に生息するモリアオガエルの解説と観察を行った。 | 42 人 |
| カブトムシ観察会 | 7月12日 7月19日 7月26日 | 屋外に設営した小屋の中にカブトムシを放ち、実際に手に取って触れ合える場を提供した。 | 28 組 76 人 25 組 92 人 19 組 67 人 計 72 組 235 人 |
| 冬虫夏草観察会 | 7月12日 | 園内で発生している冬虫夏草類の観察を行った。 | 20 人 |
| 鳴く虫観賞会 (植物園・昆虫館 共同事業) | 8月29日 8月30日 | 夜間開園時にコオロギ等の鳴く虫やその声を観賞した。 | 26 人 8 人 |
| アサギマダラ観察会 | 10月10日 | 園内に飛来するアサギマダラとその吸蜜植物フジバカマを観察した。 | 78 人 |
| きのこ観察会 | 10月18日 | 園内に自生するキノコを散策しながら観察を行った。 | 36 人 |
| 職 員 に よ る 植 物 う ん ち く ガ イ ド | 6月9日 | 初夏の花の進化園めぐり | 7 人 |
| | 6月27日 | 園内の樹木観察 | 21 人 |
| | 7月25日 | 身近な夏の花壇と鉢植え植物 | 9 人 |
| | 8月11日 | サギソウと世界の野生ラン | 6 人 |
| | 8月22日 | 熱帯スイレンとオオオニバス | 15 人 |
| | 9月8日 | 秋の大温室散策 | 20 人 |
| | 9月26日 | 身近な秋の花壇と鉢植え植物 | 26 人 |
| | 10月13日 | 秋の花と蝶の世界 | 34 人 |
| | 10月24日 | 日中友好！友好都市重慶の菊花展 | 25 人 |
| | 11月10日 | 秋の園内散策 | 15 人 |
| | 11月28日 | つる植物 | 30 人 |
| う ら ら 池 の 自 然 散 策 | 7月18日 | うらら池やロックガーデンの野生植物を | 17 人 |
| | 10月24日 | 解説した。 | 35 人 |
| 職 員 に よ る 植 物 う ん ち く 語 り | 2月9日 | バレンタイン&カカオのはなし | 5 人 |
| | 2月27日 | 春の特別ラン展 | 45 人 |
| | 3月9日 | ゼラニウム展 | 28 人 |
| | 3月27日 | 春の妖精に会いに行こう！！ | 66 人 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 | | | |
| 園内生き物探訪(昆虫さがしナイトウォーク(植物園・昆虫館共同事業)、野鳥観察会)、 あおぞら自然観察会(動物園・植物園・昆虫館共同事業) | | | |

f 植物教室その他催し物

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|------------------|--|---|--|
| ハナショウブ & アジサイまつり | 5月30日 ~6月21日 (土・日開催) | ハナショウブやアジサイの見頃の時期に合わせて、栽培講習会、花の解説などを行った。 | 5,698人 |
| 森の幼稚園 | 6月7日 10月4日 | 幼児と保護者を対象に園内の植物や自然を通じて、楽しく学ぶ機会を提供するとともに、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。 | 3組 9人 20組 60人 計 23組 69人 |
| オリエンテーリング | 7月11日 ~8月31日 11月3日 | サマーフェア、開園記念日にオリエンテーリングを開催し、参加者に記念品を進呈した。 | 2,436人 900人 計 3,336人 |
| ジュニアプロジェクト | 7月12日 8月9日 9月13日 10月11日 11月8日 3月14日 | ガイドボランティアが園内の植物や自然を通じて、植物や環境について楽しく学べる自然体験プログラムを実施した。 | 28人 24人 41人 50人 57人 44人 計 244人 |
| 親子植物体験教室 | 8月9日 | 小学校1~3年生とその保護者を対象に、植物の観察などを通じて植物について楽しく学べる教室を実施した。 | 9組 14人 |
| オオオニバス試乗体験会 | 8月12日 8月15日 8月16日 8月18日 | 小学生(低学年)以下を対象に、オオオニバスの葉に乗る体験会を実施した。 | 136人 128人 135人 132人 計 531人 |
| バオバブタッチングイベント | 10月18日 | 大温室のシンボルツリーであるオーストラリアバオバブをタッチできるイベントを期間限定で開催した。 | 883人 |
| 植物ガイド(寄附者対象) | 2月20日 2月28日 | 植物への理解を深めるため、春の特別ラン展期間中に招待した。 | 2組 |

(オ) 学校教育活動の受入れ

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件数等 |
|------------|-----|---|---------|
| 自然体験学習の受入れ | 通 年 | 小・中学校が行う自然体験学習を受け入れるほか、オリエンテーリングの相談に応じ、植物や自然保護などについて指導した。 | 5件 244人 |

(カ) 企画展その他展示会の開催

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|--|-------------------|---|
| サクラソウ展 | 4月15日 ～4月22日 | 花の形や色の変化に富むサクラソウを展示した。 |
| セントポーリアと イワタバコの仲間展 | 5月30日 ～6月11日 | 可憐で人気のあるセントポーリアとその仲間のイワタバコ 属を展示した。 |
| アジサイ展 | 5月30日 ～6月21日 | 花の色の変化に富むアジサイの原種や園芸品種などを展示 した。 |
| 夏のカラフルリーフ展 | 6月24日 ～7月12日 | 斑入り植物や様々な色の葉を持つ植物を展示した。 |
| 世界の食虫植物展 | 7月18日 ～8月16日 | ハエトリグサやウツボカズラなど、子どもたちに人気のある 世界の食虫植物を展示した。 |
| 変化朝顔展 | 8月22日 ～8月30日 | 花や葉が変化した珍しいアサガオを展示した。 |
| 薬用植物展 | 9月5日 ～9月24日 | ウコンやキキョウなどの薬用植物を展示した。 |
| キク展 | 10月24日 ～11月8日 | 日本と中国の交流の証である中国の菊花と日本の園芸菊な どを展示した。 |
| 秋の洋ラン展 | 10月31日 ～11月8日 | カトレヤやパフィオペディラムなど洋ランの園芸品種と珍 しい原種を展示した。 |
| 特別企画展 被爆樹木展 | 10月31日 ～12月10日 | 広島に原爆が投下されて75年の節目の年となることから、 最近の新しい知見を織り込みながら被爆樹木に関する資料 を展示した。 |
| クリスマス を飾るフラワー展 | 11月21日 ～12月10日 | シクラメンやポインセチア、カランコエなど、クリスマスで よく使われる植物や飾りを展示した。 |
| カカオとチョコの秘密展 | 2月8日 ～2月14日 | チョコレートの歴史と作り方、カカオの秘密をパネルで紹介 した。 |
| 春の特別ラン展 | 2月20日 ～2月28日 | 大温室を中心に洋ランを展示し、花の魅力について紹介した。 |
| 蘭のアート展示 | 2月20日 ～2月28日 | 蘭に魅せられた趣味人加賀正太郎によるランの木版画を中心 にランの絵画等を展示した。 |
| ゼラニウム展 | 3月6日 ～3月31日 | 多彩な花色と葉の模様・色が美しいゼラニウムや、豪華なペ ラルゴニウムなどを展示した。 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 春の洋ラン展、ハーブ展、ローズフェスティバル、木育展、冬の鉢花展 | | |

(キ) 広報普及

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 等 |
|--|-----|---|---|
| マスコミによる広報 | 通 年 | テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社などを通じて、植物の見頃の時期や催し物などについては毎月、珍しい植物の開花状況などについては随時、広報した。 | テレビ 36件 ラジオ 15件 新聞 19件 情報誌等 167件 計 237件 |
| 催し物案内ポスター・PR用チラシの配布 | 通 年 | 催し物案内ポスターやPR用チラシを製作し、公共施設などに配布した。 | ポスター 222か所 チラシ 845か所 |
| 植物写真パネルなどの貸出し | 通 年 | 植物や園内風景などを撮影した写真パネル・画像データを公共施設や事業所などに貸し出し、植物公園のPRを図った。 | 7か所 91点 |
| ホームページによる広報 | 通 年 | ホームページにより、施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。 | アクセス件数 134,476件 |
| メールマガジンの配信 | 通 年 | 催し物、開花状況などを、登録した読者のパソコンや携帯電話に配信した。 | 登録件数 168件 |
| 有料の広告媒体による広報 | 通 年 | 中国新聞とJR西日本に広告を行い、植物公園のPRを行った。 | 2社 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 マツダスタジアムにおけるPR活動 | | | |

(ク) 出版物の発行

| 名 称 | 内 容 | 発行部数 |
|-----------|---|------|
| 「紀 要」 | 各種の出版物を発行、配布して、国内外の植物園、大学、各関係機関との交流を深め、植物公園事業の発展を図るとともに、植物に関する知識の普及及び植物公園事業の周知を図った。 | 200部 |
| 「栽培記録」 | | 300部 |
| 「年 報」 | | 70部 |
| 「あ ら ま し」 | | 250部 |

(ケ) 植物に関する相談

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 |
|--------|-----|--------------------------------|--------|
| 植物園芸相談 | 通 年 | 植物の栽培方法など植物に関する相談等を受けて助言、指導した。 | 1,377件 |

④ 昆虫館の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けた昆虫館における昆虫の飼育・展示、収集及び飼育管理、入館料の收受、施設の維持管理などを行い、入館者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、手指消毒、三密回避などをお願いするとともに、手すりなど接触部分の消毒等を行った。なお、広島市からの要請で令和2年4月1日～令和2年5月17日、パピヨンドームの天窓修繕のため令和2年12月28日～令和3年1月17日までの期間は臨時休館した。休館中は、SNSやホームページ等により、昆虫及び館内施設に関する情報発信を積極的に行うなど、再開時における利用促進につながる活動に取り組んだ。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、希少昆虫の生息域内外保全に積極的に関わり、生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育、学校教育活動への協力、催し物の開催など各種事業を植物公園、安佐動物公園、こども文化科学館、公民館等と協働して実施し、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及、かん養並びに昆虫愛好者の育成を図った。

ア 昆虫の飼育・展示など

(ア) 昆虫の飼育・展示

| 〔展示場所〕 主な展示昆虫 | | 内 容 |
|------------------|---------|---|
| 〔パピヨンドーム〕 | チ ョ ウ 類 | 年間を通して亜熱帯の花が咲く温室に、オオゴマダラ、ツマムラサキマダラ、リュウキュウミスジなど、常時10種500頭以上の沖縄産の美しい種を中心に放蝶し、吸蜜、飛翔、求愛、交尾、産卵などチョウの様々な行動を目の当たりに観察できる展示を行った。タテハモドキなど新規展示種の飼育展示にも積極的に取り組んだ。 |
| | イトトンボ類 | クロイトトンボ、キイトトンボなどのイトトンボ類を春～秋季に飼育展示した。 |
| | ホウジャク類 | オオスカシバを春～秋季に飼育展示した。 |

| 〔展示場所〕 主な展示昆虫 | | 内 容 | |
|------------------|---|---|--|
| 〔昆虫ランド〕 | 外国産昆虫 | ヘラクレスオオカブトムシ、ニジイロクワガタ、ハナカマキリ、オオコノハムシ、大型ゴキブリなど、子どもに人気のある外国産昆虫を展示した。 | |
| | 陸生昆虫 | 夜行性昆虫 | クワガタ類、カブトムシ、カマドウマ、タイワンクツワムシ、スズムシ、マイマイカブリなど夜に活動する昆虫を照明により昼夜を反転させて展示した。 |
| | | 昼行性昆虫 | ナナホシキンカメムシ、オオカマキリ、ツダナナフシなど昼に活動する昆虫を展示した。 |
| | 水生昆虫 | ゲンゴロウ、タガメ、クロスジギンヤンマの幼虫（ヤゴ）などの水生昆虫をそれぞれの生息環境にすむその他の水生生物（オタマジャクシ、魚類、甲殻類）とともに展示した。 | |
| | 旬の昆虫 | 季節の昆虫 | ハラビロカマキリやコカマキリなどのカマキリ類、トノサマバッタやオンブバッタなどのバッタ類、クサギカメムシやアカスジキンカメムシなどのカメムシ類など、広島県に分布し、季節の移り変わりを感じさせる昆虫をスポット展示した。 |
| | | 外来昆虫 | ムネアカハラビロカマキリ、キマダラカメムシなど、身近に見られるようになった外来種をスポット的に展示した。 |
| | 社会性昆虫 | 巣を再現した専用テラリウム内でオオシロアリ、エゾヤマアカアリなど、巣を作り社会生活をする昆虫群を展示した。 | |
| | 昆虫以外の陸生節足動物 | 同じ節足動物に属し、昆虫と間違えやすいタランチュラ、サソリ、サソリモドキなど、昆虫以外の陸生節足動物を展示した。 | |
| なつかしい身近な生き物 | 40代以上の人が子どものころ遊びのなかで出会っていたアメリカザリガニ、ダンゴムシ、イモリなどの昆虫以外の小動物を展示した。 | | |
| 〔暑ヶ嶺〕 | 広島県の希少昆虫 | 広島県のみで生息する絶滅危惧昆虫のヒョウモンモドキ約50頭を、発生時期である6月に展示した。 | |

※臨時休館中は、いつでも再開できるよう安定した累代飼育の維持に努めた。

【昆虫等の飼育頭数】

(令和3年3月31日現在)

| 区 分 | 種 類 | 頭 数 |
|-----------------|-------|-----------------|
| チョウ類など(パピヨンドーム) | 21 種 | 376 頭 |
| 外国産昆虫 | 55 種 | 449 頭 1 群 |
| 夜行性昆虫 | 39 種 | 512 頭 |
| 昼行性昆虫・旬の虫 | 33 種 | 307 頭 14 群 |
| 水生昆虫 | 10 種 | 55 頭 |
| 昆虫以外の陸生節足動物 | 11 種 | 45 頭 |
| なつかしい身近な生き物 | 4 種 | 34 頭 |
| 合 計 | 173 種 | 1,778 頭 15 群 |

(イ) 昆虫の収集及び飼育管理

| 名 称 | 内 容 |
|------------------------|--|
| 展示昆虫の維持及び種の保存 | 計画的な採集や交換などにより、累代飼育を適正に行い、展示昆虫を維持するとともに、保護が必要な昆虫を飼育し、種の保存に取り組んだ。 |
| 近交弱勢防止のためのチョウその他の昆虫の採集 | 累代飼育の結果生じる近交弱勢を防止するため、年に数回、広島県や沖縄県などでチョウその他の昆虫を採集した。 |
| 昆 虫 の 交 換 | 近交弱勢などの防止及び展示種の充実のため、他の昆虫展示施設と昆虫を交換した。 譲受け：リュウキュウムラサキなど3種 譲渡し：ハナカマキリなど7種 |
| チョウその他の昆虫の累代飼育 | 他の動物に比べ比較的寿命の短い昆虫を周年展示するために、チョウ類約25種、その他の昆虫等約230種を累代飼育した。 |
| 変わりゆく自然環境の調査と情報発信 | 地球温暖化や開発等により変わりゆく自然の中にある昆虫の生態の現状を把握するため、昆虫の継続調査を行った。調査内容をまとめた「大人のための講座」等を開催し、市民に情報を発信した。 |
| 外国産昆虫の導入と飼育 | アフリカエダカマキリなど様々な外国産昆虫を展示し、累代飼育の確立に努めた。 |
| 「簡易繁殖場」におけるカブトムシの繁殖 | 昆虫好物樹木園等に設けている簡易繁殖場2カ所で自然繁殖が確認された。 |
| 昆 虫 の 飼 育 管 理 | 成育状態を良好に保つため、温度・湿度の管理のほか、チョウその他の昆虫の飼育及び展示に不可欠な蜜源植物及び食草を周年栽培・維持管理し、飼育環境の向上を図った。 |

(ウ) 入館料の収受 (利用料金制)

【入館状況】

| 区 分 | | | | 入館者数 | 使用料 | | |
|--------------------------|-----------------|----|-----------------|-----------------|-------------|------------|------------|
| 有 料 入 館 者 | 個人 | 大人 | 18歳以上65歳未満 | 510円 | 18,345人 | 9,355,950円 | |
| | | | 65歳以上 | 170円 | 1,667人 | 283,390円 | |
| | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | 170円 | 139人 | 23,630円 | |
| | 年間 パス ポート | 購入 | 大人 | 18歳以上65歳未満 | 1,560円 | 1,205人 | 1,879,800円 |
| | | | | 65歳以上 | 510円 | 57人 | 29,070円 |
| | | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | 510円 | 0人 | 0円 |
| | | 提示 | 大人 | 18歳以上65歳未満 | — | 6,262人 | —円 |
| | | | | 65歳以上 | — | 275人 | —円 |
| | | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | — | 0人 | —円 |
| | 団 体 | 大人 | 18歳以上65歳未満 | 430円 | 42人 | 18,060円 | |
| | | | 65歳以上 | 130円 | 0人 | —円 | |
| | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | 130円 | 0人 | —円 | |
| | 優 待 割 引 | 大人 | 18歳以上65歳未満 | 430円 | 3人 | 1,290円 | |
| | | | 65歳以上 | 130円 | 2人 | 260円 | |
| | | 小人 | 18歳未満(小・中学生を除く) | 130円 | 0人 | 0円 | |
| 小 計 | | | | 27,997人 | 円 | | |
| 減免等入園者(小・中学生、社会福祉施設、その他) | | | | 34,518人 | 0円 | | |
| 合 計 | | | | 62,515人 | 11,591,450円 | | |

(エ) 利用促進

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 販売枚数等 |
|---------------------------------------|--|---|--------------|
| 外国人観光客誘致の促進 | 通 年 | 英文リーフレットを森林公園内・昆虫館内に設置し、外国人観光客へのサービス向上を図り、入館者増に努めた。 | 発行部数 500部 |
| 年間パスポートの販売 (動物公園・植物公園・ 昆虫館共同事業) | 5月18日 ～12月27日 1月18日 ～3月31日 | より多くの方に昆虫館の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・植物公園と共通して利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。 | 1,262枚 |
| 休館日の開館 | 8月5日 8月12日 8月19日 8月26日 10月7日 10月14日 10月21日 10月28日 | 夏休み期間、紅葉シーズンの休館日を開館し、利用者に対するサービスの向上を図るとともに、入館者増に努めた。 | 入館者数 700人 |

(オ) 施設の維持管理・館内サービス

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|----------------|------|--|
| 施設の維持管理 | 通 年 | 入館者に安全・快適な観覧環境を提供するため、館内の清掃・警備を行った。また、建物や機械・電気などの設備を良好な状態で使用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。 |
| 展示解説の充実 | 通 年 | 昆虫の魅力や希少昆虫の現状を伝えるための展示解説板を、様々な年齢層を対象とするためにイラストを多数用いた内容で常時更新した。 |
| 利 用 案 内 | 開館日 | 入館者が快適に観覧できるよう、標識、リーフレット、館内放送などにより利用案内を行った。 |
| 緊急時などの対応 | 開館日 | 傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。 |
| 入館者への涼感サービスの提供 | 7~9月 | 夏期の暑さ対策として、昆虫館玄関前広場及びパピヨンドーム内にミスト発生装置を設置した。 |

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 |
|--------------|-----|--|---------------------------|
| 保護活動に関する情報交換 | 通 年 | 広島県生物多様性の保存希少生物分科会・ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会、ヒョウモンモドキ保全地域協議会へ参加し、環境省、広島県、三原市、廿日市市と連携してミヤジマトンボ、ヒョウモンモドキの調査や生息地の環境保全活動を行った。 | ミヤジマトンボ 1件 ヒョウモンモドキ 3件 |

(イ) 生息域内保全

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 |
|------------------|-----|--|-----------------------------------|
| 生息地における絶滅危惧昆虫の保全 | 通 年 | 生息地域の住民との協働により、ギフチョウ、アカトンボ類、ゲンゴロウ、などの保全活動を行った。 | 安佐北区玖谷 1件 東広島市志和 1件 北広島町 1件 |

(ウ) 生息域外保全

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 内訳等 |
|--------------------|-------|---|--|
| 生息地以外における絶滅危惧昆虫の保全 | 通 年 | 広島県のみで生息し、絶滅危惧Ⅰ種に指定されているヒョウモンモドキの生息地の環境整備を行うとともに、館内で累代飼育し、幼虫を生息地に放虫するなど、保全に取り組んだ。また、6月には専用ケージで成虫の生体展示を行い、絶滅危惧昆虫の現状について情報発信を行った。 | 調査 4・6月 生息域外展示 6月 環境整備 11月 放虫 600個体 |
| | 5～12月 | 広島県から委託を受け、「特定野生生物種ミヤジマトンボ」の採卵、孵化、人工飼育、放流を実施するなど、日本の絶滅危惧昆虫を保全に取り組んだ。 | 採卵 8月 幼虫調査・放流 400個体 |

(エ) 昆虫に関する調査・研究

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|--|-----|--|
| 昆虫に関する調査・研究 | 通 年 | 広島県、沖縄県などで、昆虫の種類や数の調査、採集を行い、ヒョウモンモドキなどの希少昆虫や分布上貴重な昆虫の生息状況を記録した。また、採集した昆虫を飼育して累代飼育の確立のための研究を行うとともに、採集した昆虫の一部を標本資料として保管した。 |
| 各種資料の収集 | 通 年 | 昆虫に関する書籍・雑誌・資料を収集し、累代飼育などの調査・研究に役立てた。 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 研究活動発表会(動物公園・植物公園・昆虫館共同事業) | | |

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件数等 |
|----------------|------------------|--|-------------|
| 講習会・観察会への講師の派遣 | 通 年 | 公民館、図書館、その他の公共施設などが実施する昆虫及び自然環境に関する講習会・自然観察会に職員を講師として派遣した。 | 11件 346人 |
| 大学との連携 | 11月16日 11月27日 | 博物館資料論の講師として職員を派遣した。 | 2件 74人 |

(イ) 学校教育への協力

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件数等 |
|--|---------------|---|---------------|
| 出張自然体験活動 | 通 年 | 命の大切さを伝えるため、保育園・幼稚園、小学校に職員を派遣し、昆虫とのふれあい体験を行った。 | 44件 3,228人 |
| 教 材 の 提 供 | 4~5月 12~2月 | 新型コロナウイルス感染防止対策により、出張自然体験活動が中止になった保育園等へ、教材としてカブトムシ幼虫やチョウのはねを提供した。 | 34件 |
| 総合的な学習時間の支援 | 12月 | 小・中学校に職員を派遣し、昆虫及び自然環境をテーマとした総合学習の指導を行った。 | 1件 68人 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 教材生物バザールへの参加 | | | |

(ウ) 市民・団体との協働

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|--|------------------|---|--------------------------|
| 昆虫館ボランティア | 通 年 | ボランティアを募り、自然や昆虫に関する専門知識を指導し、広島県内の希少昆虫の保護活動や調査等を行った。(ボランティア総数15人) | 活動回数 6回 活動延べ人数 41人 |
| ハロウィン 虫の館 (森林公園・昆虫館 協働事業) | 10月24日 10月25日 | ハロウィンに合わせ、昆虫館内を飾りつけて暗転し、クイズラリーを実施した。 | 582人 |
| 木の実・落ち葉で遊ぼう (森林公園・昆虫館 協働事業) | 11月22日 11月23日 | 公園内でいろいろな木の実や落ち葉を拾い集め、材料にして貼り絵など簡単な工作を行った。 | 48人 31人 計 79人 |
| 虫 み く じ (森林公園・昆虫館 協働事業) | 1月8日 ~1月12日 | 昆虫おもしろ話の解説が付く新年の運勢を占う「虫みくじ」を配布した。 | 182人 |
| バレンタインイベント (森林公園・昆虫館 協働事業) | 2月13日 2月14日 | 公園内では森林公園職員が記念撮影をするサービスを行った。館内では、パピヨンドームにマダラチョウの集まるブーケと鉢を設置し、来館者の記念撮影スポットを提供した。 | 126人 171人 計 297人 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 森の七福神めぐり(森林公園・昆虫館協働事業) | | | |

(エ) 昆虫館友の会の活動

会員内訳 (家族会員 : 27 家族 102 人)

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加人数等 |
|-----------|--------|--|-------|
| 講 習 会 | 7月5日 | カブトムシやクワガタムシを捕まえる毘づくり講座を実施した。 | 52人 |
| | 11月29日 | ドングリを使ったクラフト教室を実施した。 | 48人 |
| | 12月6日 | カブトムシやクワガタムシの標本づくり教室を実施した。 | 57人 |
| | 3月7日 | カブトムシの次世代幼虫を昆虫館に返却することを目標として、幼虫を配布し、飼育方法を解説した。 | 59人 |
| 野 外 観 察 会 | 6月21日 | 初夏の昆虫の観察を行った。 | 49人 |
| | 9月13日 | 秋の昆虫の観察を行った。 | 48人 |

(オ) 講演会その他催し物の開催

a 講演会

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|-------------------------------|-------|----------------------------------|-------|
| 大人のための昆虫講座 「絶滅のおそれのある昆虫たち」 | 9月13日 | 赤とんぼなど広島県で絶滅のおそれのある昆虫たちについて解説した。 | 4人 |
| 大人のための昆虫講座 「国内で分布を拡げる昆虫たち」 | 10月4日 | 温暖化などが要因で分布域を拡げる昆虫の現状について解説した。 | 4人 |
| 大人のための昆虫講座 「外国からやってきた昆虫たち」 | 11月8日 | 外来昆虫の現状について解説した。 | 4人 |

b コンクール

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|-------------|---|--|---|
| むしむし写真コンテスト | (応募期間) 5月1日 ~10月31日 (優秀作品展) 1月18日 ~3月28日 | 昆虫を題材とした写真コンテストを実施し、優秀作品を表彰した。優秀作品展を開催したほか、Web上でも公開した。 | 応募者数 338人 応募点数 1,203点 入賞点数 36点 |

c 観察会

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|--|----------------|---|--------|
| みどりの中で生きもの探検～むし編 | 7月12日 | 【全国都市緑化ひろしまフェアスポットイベント】 昆虫館周辺及び樹木園で、家族を対象に、昆虫の観察と名前調べを行った。 | 54人 |
| | 7月26日 | | 39人 |
| | 8月2日 | | 45人 |
| | 9月6日 | | 50人 |
| | 10月18日 | | 56人 |
| | | | 計 244人 |
| 鳴く虫観察会 (植物園・昆虫館 共同事業) | 8月29日 8月30日 | 植物公園で鳴く虫講座を実施した。 | 34人 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 昆虫さがしナイトウォーク(植物園・昆虫館共同事業)、あおぞら自然観察会(動物園・植物園・昆虫館共同事業) | | | |

d 昆虫教室その他催し物

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|----------------|------------------|--|---------------------|
| 夏休み子ども昆虫相談 | 7～8月 | 夏休みの自由研究の疑問点など、昆虫に関する相談を受けて助言、指導した。 | 15人 |
| 虫 講 座 | — | 主に企画展示の内容に合わせて、小学生からシニアまでを対象に、昆虫に関する実験や観察を取り入れた講座を行った。 | 合計 213人 |
| カブクワの採りかた | 7月19日 | カブトムシやクワガタムシの罠の作りと仕掛け方、採集マナーについての講座を行った。 | 60人 |
| 外国産カブクワの飼いかた | 8月9日 | 外国産カブトムシ・クワガタムシの飼い方のコツと飼育マナーについて講座を行った。 | 15人 |
| 食虫植物のはなし | 10月17日 | 食虫植物の体のつくりを解説およびエサやり体験を行った。 | 8人 |
| カブト・クワガタの標本づくり | 12月13日 12月27日 | カブトムシやクワガタムシの標本づくり教室を実施した。 | 32人 48人 計 80人 |
| カブトムシクラブ | 3月14日 | カブトムシの次世代幼虫を昆虫館に返却することを目標として、幼虫を配布し、飼育方法を解説した。 | 50人 |
| むしむしサマースクール | 8月1日 8月22日 | 小学生を対象に、昆虫の飼育など昆虫館の仕事を体験できるサマースクールを実施した。 | 4人 4人 計 8人 |
| 森の音楽会 | 9月22日 | 鳴く虫展の開催に合わせ、サクソ四重奏団を招き、音楽会を開催した。 | 28人 |
| かいこのまゆ工作 | 2月21日 2月28日 | かいこのまゆを使って、人形やおきあがりこぼしをつくる講座を実施した。 | 20人 13人 計 33人 |

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|--|----------------|--|---------------------|
| ぱたぱたバタフライ | 3月21日 3月28日 | 羽ばたくチョウのおもちゃを作製した。作品はパピヨンドーム内で羽ばたかせ、チョウを引き寄せる実験を行った。 | 42人 24人 計 66人 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 むしむしおはなし会、むしむしおりがみ教室、虫タッチ!!、むしむし缶バッジ作り | | | |

(カ) 学校教育活動の受入れ

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件数等 |
|------------|------------------|---|-------------|
| 自然体験学習の受入れ | 6月26日 ~12月19日 | 昆虫の観察やふれあい体験を目的として、幼稚園・保育園の幼児や小・中学校等の児童・生徒を受け入れた。 | 19件 987人 |

(キ) 企画展その他展示会の開催

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|---|------------------|---|
| 希少昆虫域外保全 「ヒョウモンモドキ生体展示」 | 6月6日 ~6月28日 | 広島だけに生息する絶滅が危惧されるチョウ「ヒョウモンモドキ」を生息域外保全し、成虫発生時に、採卵と併せて、成虫を展示した。 |
| 南の島のホタル | 6月27日 ~7月12日 | 発光する沖縄産陸生ホタルの幼虫を暗くした会場で展示し、南の島の静かな夜の雰囲気を感じることができる癒しの空間を提供した。 |
| 植物と虫 ~助ける助けられる | 7月23日 ~8月31日 | 【全国都市緑化ひろしまフェアスポットイベント】 植物と昆虫が相互に助け合い、自然の中で生きる様子をアリ植物や擬態する昆虫など、生体を多く取り入れた企画展を開催した。 |
| 秋の鳴く虫 | 9月12日 ~9月27日 | 暗くした会場で、秋に出現するコオロギやキリギリスのなかま約20種を展示し、実際に鳴く姿を見聞きできる展示を開催した。 |
| 植物と虫 ~食べる食べられる | 10月10日 ~11月3日 | 【全国都市緑化ひろしまフェアスポットイベント】 植物を食べるバッタや、昆虫が寄生して植物を変形させてできる虫こぶ、虫を食べる食虫植物など、生体を多く取り入れた企画展を開催した。 |
| むしむし写真コンテスト 優 秀 作 品 展 | 1月18日 ~3月28日 | 写真コンテストの優秀作品展を開催した。また、Web上でも同優秀作品を公開した。 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 世界のカブト・クワガタ | | |

(ク) 広報普及

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件数等 |
|--|------|--|---|
| マスコミによる広報 | 通 年 | テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社、市 広報紙課などを通じて、昆虫館の展示や催 し物などの広報を行った。 | 新聞 9件 テレビ 9件 ラジオ 4件 雑誌 1件 市民と市政 12件 計35件 |
| 保育園、幼稚園、小学校、 その他の教育施設への 学習利用の促進 | 通 年 | 保育園、幼稚園、小学校を訪問して、昆虫 館で実施している社会教育活動を紹介し た。 | 31件 |
| ホームページによる広報 | 通 年 | ホームページにより、施設の紹介、催し 物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報 を提供した。 | アクセス数 142,939件 |
| Facebookによる広報 | 通 年 | Facebookにより、施設の紹介、催し物、展示 昆虫や季節の昆虫などの情報を提供した。 | 更新回数 160件 |
| Twitterによる広報 | 通 年 | Twitterにより、催し物、展示昆虫や季節の 昆虫などの情報を提供した。 | 更新回数 243件 |
| オリジナルグッズの配布 | 通 年 | 各イベントに合わせ、昆虫シールや缶バッ ジなど昆虫館オリジナルグッズを配布し、 昆虫館をPRした。 | 昆虫シール 50枚 缶バッジ 2,000個 |
| 催し物案内ポスター・ PR用チラシの配布 | 4~9月 | 催し物案内ポスターやPR用チラシを製 し、公共施設などに配布した。 | チラシ(写真コンテスト) 200か所×1回 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 マツダスタジアムにおけるPR活動 | | | |

(ケ) 出版物の配布

| 名 称 | 内 容 | 配布部数 |
|----------------------|---|--------------|
| 「標本の作り方」 「飼ってみよう」 | 身近な昆虫の飼い方や標本の作り方を分かりやすく解 説したリーフレットを配布し、昆虫に関する知識の普 及や昆虫館事業の周知を図った。 | 100部 100部 |
| 「昆虫館News」 | 昆虫館の魅力を市民に発信するため、飼育展示の裏話 やイベント情報を掲載した冊子を発行、配布した。 | 3,500部 |

(コ) 昆虫に関する相談

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件数 |
|---------|-----|---------------------------------------|------|
| 昆 虫 相 談 | 通 年 | 昆虫の飼育方法や生態など昆虫に関する相談 等を受けて助言、指導した。 | 474件 |

(2) 収益事業等

① 売店の運営など〔収1事業〕

ア 安佐動物公園等における売店の運営など

指定管理者として指定された次の施設の利用者の利便を図るため、売店、食堂などの経営を行った。

| 営業場所 | 内 容 |
|--------------------------------|---|
| 安 佐 動 物 公 園 | 売店(2か所)における土産物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 ベビーカーの賃貸 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 |
| 植 物 公 園 | 売店(1か所)における土産物などの販売 売店(1か所)における植物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 臨時売店(3か所)における植物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 観光望遠鏡の賃貸 |
| 昆 虫 館 | 売店(1か所)における土産物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸 |
| 中央公園(ファミリープール) | 自動販売機による清涼飲料水などの販売 浮輪の賃貸 |
| 中央公園(定期観光バス等駐車場) 大芝公園 交通ランド | 自動販売機による清涼飲料水などの販売 |

イ 公益目的事業への繰入れ

緑のまちづくり事業、動物公園事業、植物公園事業、昆虫館事業等の推進を図るため、売店の運営等で得た収益を公益目的事業に繰り入れた。

② 公園及び公園施設の管理運営〔他1事業〕

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けたファミリープールの入園料などの収受及び管理運営、中央公園の維持管理、交通ランド（大芝公園）のゴーカート使用料の収納事務及び維持管理並びに安佐動物公園、植物公園の駐車料の収受及び駐車場の管理運営を行い、入園者及び利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

ファミリープールの運営では、新型コロナウイルス感染防止のため、入園人数制限や入園時の検温、消毒液の設置などを行った。また、入園人数制限による混乱を防止するため、ホームページやSNSで適宜、入園人数の現況を速報するなど、円滑な運営に取り組んだ。

ア 中央公園（ファミリープールを含む）及び交通ランドの管理運営

(ア) 入園料などの収受及びゴーカート使用料の収納事務

a ファミリープール（利用料金制）

【入園状況】

| 区 分 | | | | 入園者数 | 使用料 | |
|-------|-----------------|----|----------------|------|---------|-------------|
| 有料入園者 | 個人 | 大人 | 18歳以上65歳未満 | 790円 | 15,807人 | 12,487,530円 |
| | | 大人 | 65歳以上 | 340円 | 363人 | 123,420円 |
| | | 小人 | 小・中・高校生及び18歳未満 | 340円 | 13,396人 | 4,554,640円 |
| | 団体 | 大人 | 18歳以上65歳未満 | 650円 | 2人 | 1,300円 |
| | | 大人 | 65歳以上 | 270円 | 0人 | 0円 |
| | | 小人 | 小・中・高校生及び18歳未満 | 270円 | 72人 | 19,440円 |
| | 小 計 | | | | 29,640人 | 17,186,330円 |
| | 減免等入園者（障害者、その他） | | | | 10,005人 | 0円 |
| | 合 計 | | | | 39,645人 | 17,186,330円 |

【コインロッカー利用状況】

| 区 分 | 利用回数 | 使用料 |
|--------------|---------|------------|
| ロッカー利用（100円） | 13,825回 | 1,382,500円 |

b 交通ランド

【利用状況】

| 区 分 | | 利用台数 | 使用料 | |
|-------|--------------------|----------------|------------|------------|
| ゴーカート | 個人 | 1人乗り(1台1回100円) | 15,055台 | 1,505,500円 |
| | | 2人乗り(1台1回150円) | 30,946台 | 4,641,900円 |
| | 団体 | 1人乗り(1台1回80円) | 0台 | 0円 |
| | | 2人乗り(1台1回120円) | 0台 | 0円 |
| | 減免利用者 (高齢者、その他) | 1人乗り(—) | 344台 | 0円 |
| | | 2人乗り(—) | 4,424台 | 0円 |
| 合 計 | | 50,769台 | 6,147,400円 | |

(イ) 利用促進

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|--|------|---|--------------|
| ファミリープール 休園日の開園 | 8月6日 | 開園期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。 | 入園者数 883人 |
| <p>【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 ファミリープール前売券の発行、ファミリープールポイントカードの発行、ファミリープールイベント開催</p> | | | |

(ウ) 施設の維持管理・園内サービス

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|--------------------------------|----------------|--|
| 施設の維持管理 | 通 年 | 利用者に安全・快適な利用環境を提供するため、園内の清掃・警備などを行った。また、管理棟などの建物、機械・電気などの設備やゴーカートを良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。 |
| 利 用 案 内 | 通 年 | 利用者が快適に施設を利用できるよう、案内標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。 |
| 緊急時などの対応 | 通 年 | 傷病者の救護、迷子の搜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。 |
| ファミリープール 入園者への涼感 サービスの提供 | 7月1日 ～8月31日 | 暑さ対策として、入園ゲート前と園内にミストファンを置き、入園者が涼しさを感じられるサービスを提供した。 |

イ 安佐動物公園及び植物公園の駐車場の管理運営

(7) 駐車料の収受（利用料金制）

a 安佐動物公園

【利用状況】

| 区 分 | 台 数 | 使 用 料 |
|-------------------|---------|-------------|
| 中・大型自動車等 (1,400円) | 452台 | 632,800円 |
| 普通自動車等 (450円) | 85,000台 | 38,250,000円 |
| 減 免 利 用 | 1,536台 | 0円 |
| 合 計 | 86,988台 | 38,882,800円 |

b 植物公園

【利用状況】

| 区 分 | 台 数 | 使 用 料 |
|-------------------|---------|-------------|
| 中・大型自動車等 (1,400円) | 51台 | 71,400円 |
| 普通自動車等 (450円) | 35,961台 | 16,182,450円 |
| 減 免 利 用 | 1,320台 | 0円 |
| 合 計 | 37,332台 | 16,253,850円 |

(イ) 施設の維持管理

| 名 称 | 時 期 | 内 容 |
|---------|-----|--|
| 施設の維持管理 | 通 年 | 利用者に安心・安全な利用環境を提供するため、駐車場内及び進入路における交通誘導や警備などを行った。また、立体駐車場などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。 |

ウ 中央公園（ファミリープールを含む）における教育・普及

(ア) 水泳教室その他催し物の開催

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 参加者数等 |
|--|------------------|---|-------|
| 中 央 公 園 樹 名 板 づ くり | 12月28日 ～3月31日 | 中央公園樹木の樹名板の作製を行う子どもを募り、作業を通じて樹木について楽しく学ぶ機会を提供した。また、この手作りの樹名板により公園利用者の関心を引き、樹木への理解や知識を深めた。 | 30人 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 ファミリープール水泳教室 | | | |

(イ) 広報普及

| 名 称 | 時 期 | 内 容 | 件 数 等 |
|---|-----|------------------------------------|---------------------------------------|
| ホームページによる広報 | 通 年 | ホームページにより、施設の紹介や催し物などの情報を提供した。 | アクセス件数 181,751件 |
| Twitter による広報 | 通 年 | Twitterにより、施設の紹介や施設利用者数などの情報を提供した。 | 投稿件数 444件 |
| マスコミによる広報 | 通 年 | テレビ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物などの広報を行った。 | テレビ 12件 新聞 2件 情報誌等 11件 計 25件 |
| 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 PR用チラシの配布 | | | |

- 7 事業報告の附属明細書
記載すべき事項はありません。

決算報告書

第2 決算報告書

令和2年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|---------------------|--------------|--------------|-------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 297,314,127 | 271,480,174 | 25,833,953 |
| 未収金 | 9,608,047 | 11,859,699 | △ 2,251,652 |
| 商品 | 9,241,688 | 7,878,308 | 1,363,380 |
| 流動資産合計 | 316,163,862 | 291,218,181 | 24,945,681 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 投資有価証券 | 112,000,000 | 112,000,000 | 0 |
| 基本財産合計 | 112,000,000 | 112,000,000 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 緑化基金積立資産 | 413,634,328 | 413,634,328 | 0 |
| 広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| 退職給付引当資産 | 34,866,103 | 33,376,919 | 1,489,184 |
| 減価償却引当資産 | 25,229,504 | 24,281,871 | 947,633 |
| 備品等購入資金積立資産 | 1,452,606 | 1,452,606 | 0 |
| みどり生きものサポーター募金積立資産 | 2,044,457 | 1,681,142 | 363,315 |
| 特定資産合計 | 480,226,998 | 477,426,866 | 2,800,132 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物 | 1,490,000 | 1,490,000 | 0 |
| 建物減価償却累計額 | △ 1,489,998 | △ 1,489,998 | 0 |
| 構築物 | 2,764,650 | 2,764,650 | 0 |
| 構築物減価償却累計額 | △ 1,781,653 | △ 1,597,344 | △ 184,309 |
| 車両運搬具 | 4,283,207 | 4,283,207 | 0 |
| 車両運搬具減価償却累計額 | △ 4,283,202 | △ 4,283,202 | 0 |
| 器具備品 | 25,146,093 | 25,049,693 | 96,400 |
| 器具備品減価償却累計額 | △ 20,654,075 | △ 20,295,301 | △ 358,774 |
| 電話加入権 | 74,984 | 74,984 | 0 |
| 投資有価証券 | 219,382 | 192,940 | 26,442 |
| その他固定資産合計 | 5,769,388 | 6,189,629 | △ 420,241 |
| 固定資産合計 | 597,996,386 | 595,616,495 | 2,379,891 |
| 資産合計 | 914,160,248 | 886,834,676 | 27,325,572 |

(単位：円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|---------------|---------------|---------------|-------------|
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 83,604,307 | 74,229,603 | 9,374,704 |
| 未払消費税等 | 18,332,700 | 20,964,700 | △ 2,632,000 |
| 未払法人税等 | 271,000 | 1,005,100 | △ 734,100 |
| 前受金 | 49,000 | 14,000 | 35,000 |
| 買掛金 | 5,784,936 | 3,526,678 | 2,258,258 |
| 預り金 | 7,304,491 | 7,261,374 | 43,117 |
| 賞与引当金 | 33,110,504 | 33,523,111 | △ 412,607 |
| 流動負債合計 | 148,456,938 | 140,524,566 | 7,932,372 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 474,911,173 | 459,930,043 | 14,981,130 |
| 長期預り金 | 1,689,460 | 1,689,460 | 0 |
| 固定負債合計 | 476,600,633 | 461,619,503 | 14,981,130 |
| 負債合計 | 625,057,571 | 602,144,069 | 22,913,502 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 広島市出資金 | 503,600,000 | 503,600,000 | 0 |
| 寄付金 | 2,044,457 | 1,681,142 | 363,315 |
| 指定正味財産合計 | 505,644,457 | 505,281,142 | 363,315 |
| (うち基本財産への充当額) | (100,000,000) | (100,000,000) | (0) |
| (うち特定資産への充当額) | (405,644,457) | (405,281,142) | 363,315 |
| 2. 一般正味財産 | △ 216,541,780 | △ 220,590,535 | 4,048,755 |
| (うち基本財産への充当額) | (12,000,000) | (12,000,000) | (0) |
| (うち特定資産への充当額) | (39,716,438) | (38,768,805) | 947,633 |
| 正味財産合計 | 289,102,677 | 284,690,607 | 4,412,070 |
| 負債及び正味財産合計 | 914,160,248 | 886,834,676 | 27,325,572 |

2 貸借対照表内訳表

貸借対照表内訳表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | 収益事業等会計 | 法人会計 | 内部取引等消去 | 合 計 |
|---------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| I 資産の部 | | | | | |
| 1. 流動資産 | | | | | |
| 現金預金 | 168,431,855 | 94,970,520 | 33,911,752 | | 297,314,127 |
| 未収金 | 8,050,288 | 1,557,759 | | | 9,608,047 |
| 未収消費税等 | 492,147 | 2,030,892 | 1,241,272 | △ 3,764,311 | 0 |
| 商品 | | 9,241,688 | | | 9,241,688 |
| 他会計短期貸付金 | | 35,292,000 | | △ 35,292,000 | 0 |
| 流動資産合計 | 176,974,290 | 143,092,859 | 35,153,024 | △ 39,056,311 | 316,163,862 |
| 2. 固定資産 | | | | | |
| (1) 基本財産 | | | | | |
| 投資有価証券 | 112,000,000 | | | | 112,000,000 |
| 基本財産合計 | 112,000,000 | | | | 112,000,000 |
| (2) 特定資産 | | | | | |
| 緑化基金積立資産 | 413,634,328 | | | | 413,634,328 |
| 広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産 | 3,000,000 | | | | 3,000,000 |
| 退職給付引当資産 | | 34,866,103 | | | 34,866,103 |
| 減価償却引当資産 | 1,703,309 | 23,526,195 | | | 25,229,504 |
| 備品等購入資金積立資産 | | 1,452,606 | | | 1,452,606 |
| みどり生きものサポーター基金積立資産 | 2,044,457 | | | | 2,044,457 |
| 特定資産合計 | 420,382,094 | 59,844,904 | | | 480,226,998 |
| (3) その他固定資産 | | | | | |
| 建物 | | 1,490,000 | | | 1,490,000 |
| 建物減価償却累計額 | | △ 1,489,998 | | | △ 1,489,998 |
| 構築物 | | 2,764,650 | | | 2,764,650 |
| 構築物減価償却累計額 | | △ 1,781,653 | | | △ 1,781,653 |
| 車両運搬具 | 1,703,310 | 2,579,897 | | | 4,283,207 |
| 車両運搬具減価償却累計額 | △ 1,703,309 | △ 2,579,893 | | | △ 4,283,202 |
| 器具備品 | 3,983,420 | 21,162,673 | | | 25,146,093 |
| 器具備品減価償却累計額 | △ 2,979,424 | △ 17,674,651 | | | △ 20,654,075 |
| 電話加入権 | | 74,984 | | | 74,984 |
| 投資有価証券 | 219,382 | | | | 219,382 |
| その他固定資産合計 | 1,223,379 | 4,546,009 | | | 5,769,388 |
| 固定資産合計 | 533,605,473 | 64,390,913 | | | 597,996,386 |
| 資産合計 | 710,579,763 | 207,483,772 | 35,153,024 | △ 39,056,311 | 914,160,248 |
| II 負債の部 | | | | | |
| 1. 流動負債 | | | | | |
| 未払金 | 46,687,583 | 11,189,422 | 25,727,302 | | 83,604,307 |
| 未払消費税等 | 18,881,278 | 3,215,733 | | △ 3,764,311 | 18,332,700 |
| 未払法人税等 | | 271,000 | | | 271,000 |
| 前受金 | 49,000 | | | | 49,000 |
| 買掛金 | | 5,784,936 | | | 5,784,936 |
| 預り金 | 1,267,286 | 200,680 | 5,836,525 | | 7,304,491 |
| 他会計短期借入金 | 35,292,000 | | | △ 35,292,000 | 0 |
| 貸与引当金 | 27,581,685 | 3,056,434 | 2,472,385 | | 33,110,504 |
| 流動負債合計 | 129,758,832 | 23,718,205 | 34,036,212 | △ 39,056,311 | 148,456,938 |
| 2. 固定負債 | | | | | |
| 退職給付引当金 | 390,768,812 | 34,866,103 | 49,276,258 | | 474,911,173 |
| 長期預り金 | 557,900 | 1,131,560 | | | 1,689,460 |
| 固定負債合計 | 391,326,712 | 35,997,663 | 49,276,258 | | 476,600,633 |
| 負債合計 | 521,085,544 | 59,715,868 | 83,312,470 | △ 39,056,311 | 625,057,571 |
| III 正味財産の部 | | | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | | | |
| 広島市出資金 | 503,600,000 | | | | 503,600,000 |
| 寄付金 | 2,044,457 | | | | 2,044,457 |
| 指定正味財産合計 | 505,644,457 | | | | 505,644,457 |
| (うち基本財産への充当額) | (100,000,000) | | | | (100,000,000) |
| (うち特定資産への充当額) | (405,644,457) | | | | (405,644,457) |
| 2. 一般正味財産 | △ 316,150,238 | 147,767,904 | △ 48,159,446 | | △ 216,541,780 |
| (うち基本財産への充当額) | (12,000,000) | | | | (12,000,000) |
| (うち特定資産への充当額) | (14,737,637) | (24,978,801) | | | (39,716,438) |
| 正味財産合計 | 189,494,219 | 147,767,904 | △ 48,159,446 | | 289,102,677 |
| 負債及び正味財産合計 | 710,579,763 | 207,483,772 | 35,153,024 | △ 39,056,311 | 914,160,248 |

3 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|--------------|---------------|---------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | | | |
| 基本財産受取利息 | 100,250 | 100,250 | 0 |
| 基本財産受取利息振替額 | 835,418 | 835,418 | 0 |
| 特定資産運用益 | | | |
| 緑化基金受取利息 | 91,916 | 91,916 | 0 |
| 緑化基金受取利息振替額 | 3,363,392 | 3,363,392 | 0 |
| 協会賞基金受取利息 | 16,708 | 16,708 | 0 |
| 協会賞基金受取利息振替額 | 8,354 | 8,354 | 0 |
| 引当資産等受取利息 | 37,451 | 40,789 | △ 3,338 |
| 受取会費 | | | |
| 会員受取会費 | 459,000 | 769,000 | △ 310,000 |
| 事業収益 | | | |
| 利用料金収益 | 186,554,220 | 246,288,940 | △ 59,734,720 |
| 指定管理料収益 | 1,184,713,671 | 1,097,101,281 | 87,612,390 |
| 維持補修業務等受託収益 | 919,856 | 890,673 | 29,183 |
| 保護増殖業務等受託収益 | 329,800 | 326,640 | 3,160 |
| 売店等売上収益 | 109,296,219 | 157,092,893 | △ 47,796,674 |
| 売店等事業収益 | 6,222,146 | 23,089,164 | △ 16,867,018 |
| 実費徴収金収益 | 1,569,425 | 2,266,090 | △ 696,665 |
| 手数料収益 | 37,957 | 52,479 | △ 14,522 |
| 使用料収益 | 1,724,895 | 3,045,905 | △ 1,321,010 |
| 受取補助金等 | | | |
| 受取協会運営等補助金 | 91,138,629 | 115,756,163 | △ 24,617,534 |
| 受取都市緑化フェア支援金 | 640,000 | 100,000 | 540,000 |
| 受取動物管理助成金 | 459,000 | 467,561 | △ 8,561 |
| 受取動物保護活動等助成金 | 368,000 | 272,000 | 96,000 |
| 受取負担金 | | | |
| 受取負担金 | 306,340 | 1,110,950 | △ 804,610 |
| 受取寄付金 | | | |
| 受取寄付金 | 2,069,640 | 424,353 | 1,645,287 |
| 受取寄付金振替額 | 543,400 | | 543,400 |
| 受取協賛金 | | | |
| 受取協賛金 | | 1,000,000 | △ 1,000,000 |
| 雑収益 | | | |
| 受取利息 | 87,390 | 51,919 | 35,471 |
| 雑収益 | 1,482,387 | 1,901,228 | △ 418,841 |
| 固定負債取崩益 | | | |
| 退職給付引当金取崩益 | 13,064,591 | 7,759,094 | 5,305,497 |
| 経常収益計 | 1,606,440,055 | 1,664,223,160 | △ 57,783,105 |

(単位:円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|----------|-------------|-------------|--------------|
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | | | |
| 給料 | 225,972,460 | 218,087,419 | 7,885,041 |
| 諸手当 | 157,799,944 | 167,962,469 | △ 10,162,525 |
| 報酬 | 132,316,522 | 123,645,589 | 8,670,933 |
| 賞与引当金繰入額 | 30,638,119 | 31,102,512 | △ 464,393 |
| 災害補償費 | 73,607 | 179,447 | △ 105,840 |
| 賃金 | 79,964,051 | 96,750,283 | △ 16,786,232 |
| 退職給付費用 | 27,454,102 | 7,620,042 | 19,834,060 |
| 福利厚生費 | 102,348,530 | 107,756,390 | △ 5,407,860 |
| 仕入費 | 50,460,125 | 71,598,070 | △ 21,137,945 |
| 食糧費 | 4,327 | 79,025 | △ 74,698 |
| 諸謝金 | 1,844,524 | 3,803,814 | △ 1,959,290 |
| 諸会費 | 749,756 | 1,095,927 | △ 346,171 |
| 報償費 | 546,358 | 627,198 | △ 80,840 |
| 旅費 | 626,494 | 2,630,395 | △ 2,003,901 |
| 通信運搬費 | 2,028,747 | 3,231,843 | △ 1,203,096 |
| 減価償却費 | 1,370,679 | 1,526,100 | △ 155,421 |
| 消耗什器備品費 | | 241,550 | △ 241,550 |
| 消耗品費 | 92,044,818 | 94,404,738 | △ 2,359,920 |
| 器具備品購入費 | 794,960 | 1,185,120 | △ 390,160 |
| 原材料費 | 1,008,643 | 721,105 | 287,538 |
| 委託料 | 255,190,123 | 259,343,978 | △ 4,153,855 |
| 修繕費 | 55,894,691 | 42,212,953 | 13,681,738 |
| 工事請負費 | 543,400 | | 543,400 |
| 燃料費 | 22,154,668 | 27,237,001 | △ 5,082,333 |
| 光熱水費 | 174,463,573 | 190,898,254 | △ 16,434,681 |
| 支払手数料 | 1,916,232 | 1,325,247 | 590,985 |
| 使用料及び賃借料 | 13,272,297 | 13,666,403 | △ 394,106 |
| 保険料 | 2,548,600 | 2,616,639 | △ 68,039 |
| 租税公課 | 72,471,700 | 64,434,783 | 8,036,917 |
| 支払負担金 | 790,293 | 1,211,049 | △ 420,756 |
| 支払補助金 | 957,300 | 629,700 | 327,600 |
| 広報費 | 753,416 | 2,157,655 | △ 1,404,239 |
| 雑費 | 25,808 | 476,040 | △ 450,232 |
| 固定資産除却損 | 4 | 2 | 2 |
| 棚卸減耗損 | 64,062 | 116,077 | △ 52,015 |
| 棚卸資産廃棄損 | 80,320 | 108,192 | △ 27,872 |

(単位:円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|-----------------|---------------|---------------|--------------|
| 管理費 | | | |
| 給料 | 18,268,371 | 18,494,700 | △ 226,329 |
| 諸手当 | 11,437,797 | 11,957,082 | △ 519,285 |
| 報酬 | 14,693,422 | 14,683,682 | 9,740 |
| 賞与引当金繰入額 | 2,472,385 | 2,420,599 | 51,786 |
| 賃金 | 3,245,930 | 6,692,622 | △ 3,446,692 |
| 退職給付費用 | 19,229,658 | 40,184,722 | △ 20,955,064 |
| 福利厚生費 | 8,005,370 | 9,230,526 | △ 1,225,156 |
| 会議費 | 64,570 | 27,090 | 37,480 |
| 交際費 | | 15,000 | △ 15,000 |
| 諸謝金 | 440,000 | 198,000 | 242,000 |
| 諸会費 | 258,180 | 247,960 | 10,220 |
| 報償費 | 4,048 | 4,048 | 0 |
| 旅費 | | 103,680 | △ 103,680 |
| 通信運搬費 | 944,557 | 884,338 | 60,219 |
| 消耗品費 | 851,613 | 959,946 | △ 108,333 |
| 委託料 | 294,162 | 669,055 | △ 374,893 |
| 支払手数料 | 108,312 | 102,628 | 5,684 |
| 使用料及び賃借料 | 11,885,597 | 11,637,041 | 248,556 |
| 支払負担金 | 703,075 | 693,124 | 9,951 |
| 支払協賛金 | 40,000 | 40,000 | 0 |
| 経常費用計 | 1,602,120,300 | 1,659,928,852 | △ 57,808,552 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 4,319,755 | 4,294,308 | 25,447 |
| 当期経常増減額 | 4,319,755 | 4,294,308 | 25,447 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 固定資産除却損 | | 36,108 | △ 36,108 |
| 経常外費用計 | 0 | 36,108 | △ 36,108 |
| 当期経常外増減額 | | △ 36,108 | 36,108 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | 4,319,755 | 4,258,200 | 61,555 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 271,000 | 1,005,100 | △ 734,100 |
| 当期一般正味財産増減額 | 4,048,755 | 3,253,100 | 795,655 |
| 一般正味財産期首残高 | △ 220,590,535 | △ 223,843,635 | 3,253,100 |
| 一般正味財産期末残高 | △ 216,541,780 | △ 220,590,535 | 4,048,755 |

(単位:円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|---------------|-------------|-------------|-----------|
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 基本財産運用益 | | | |
| 基本財産受取利息 | 835,418 | 835,418 | 0 |
| 特定資産運用益 | | | |
| 緑化基金受取利息 | 3,363,392 | 3,363,392 | 0 |
| 協会賞基金受取利息 | 8,354 | 8,354 | 0 |
| 受取寄付金 | | | |
| 受取寄付金 | 906,715 | 280,023 | 626,692 |
| 一般正味財産への振替額 | | | |
| 一般正味財産への振替額 | △ 4,750,564 | △ 4,207,164 | △ 543,400 |
| 当期指定正味財産増減額 | 363,315 | 280,023 | 83,292 |
| 指定正味財産期首残高 | 505,281,142 | 505,001,119 | 280,023 |
| 指定正味財産期末残高 | 505,644,457 | 505,281,142 | 363,315 |
| III 正味財産期末残高 | 289,102,677 | 284,690,607 | 4,412,070 |

4 正味財産増減計算書内訳表

正味財産増減計算書内訳表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | | 収益事業等会計 | | | 法人会計 | 内部取引等消去 | 合 計 |
|--------------|-----------------|------------------|--------------|---------------|-----------------|-----------------|-------------|------------|-------------|---------------|
| | 公1 (緑のまちづくり) | 公2 (動物・植物・昆虫) | 共通 (事業運営) | 公益計 | 収1 (売店の運営など) | 他1 (公園・公園施設) | 収益等計 | | | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | | | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | | | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | | | | | | |
| 基本財産運用益 | | | | | | | | | | |
| 基本財産受取利息 | | 100,250 | | 100,250 | | | | | | 100,250 |
| 基本財産受取利息振替額 | 83,542 | 751,876 | | 835,418 | | | | | | 835,418 |
| 特定資産運用益 | | | | | | | | | | |
| 緑化基金受取利息 | 91,916 | | | 91,916 | | | | | | 91,916 |
| 緑化基金受取利息振替額 | 3,363,392 | | | 3,363,392 | | | | | | 3,363,392 |
| 協会賞基金受取利息 | 16,708 | | | 16,708 | | | | | | 16,708 |
| 協会賞基金受取利息振替額 | 8,354 | | | 8,354 | | | | | | 8,354 |
| 引当資産等受取利息 | | | | | 37,451 | | 37,451 | | | 37,451 |
| 受取会費 | | | | | | | | | | |
| 会員受取会費 | | 459,000 | | 459,000 | | | | | | 459,000 |
| 事業収益 | | | | | | | | | | |
| 利用料金収益 | | 112,848,740 | | 112,848,740 | | 73,705,480 | 73,705,480 | | | 186,554,220 |
| 指定管理料収益 | | 971,588,125 | | 971,588,125 | | 213,125,546 | 213,125,546 | | | 1,184,713,671 |
| 維持補修業務等受託収益 | | 919,856 | | 919,856 | | | | | | 919,856 |
| 保護増殖業務受託収益 | | 329,800 | | 329,800 | | | | | | 329,800 |
| 売店等売上収益 | | | | | 109,296,219 | | 109,296,219 | | | 109,296,219 |
| 売店等事業収益 | | | | | 6,222,146 | | 6,222,146 | | | 6,222,146 |
| 実費徴収金収益 | | | | | 1,569,425 | | 1,569,425 | | | 1,569,425 |
| 手数料収益 | | | | | 37,957 | | 37,957 | | | 37,957 |
| 使用料収益 | | | | | 1,724,895 | | 1,724,895 | | | 1,724,895 |
| 受取補助金等 | | | | | | | | 91,138,629 | | 91,138,629 |
| 受取協会運営等補助金 | | | | | | | | | | |
| 受取都市緑化フェア支援金 | 640,000 | | | 640,000 | | | | | | 640,000 |
| 受取動物管理助成金 | | 459,000 | | 459,000 | | | | | | 459,000 |
| 受取動物保護活動等助成金 | | 368,000 | | 368,000 | | | | | | 368,000 |
| 受取負担金 | | | | | | | | | | |
| 受取負担金 | 36,000 | 270,340 | | 306,340 | | | | | | 306,340 |
| 受取寄付金 | | | | | | | | | | |
| 受取寄付金 | | 2,069,640 | | 2,069,640 | | | | | | 2,069,640 |
| 受取寄付金振替額 | | 543,400 | | 543,400 | | | | | | 543,400 |
| 雑収益 | | | | | | | | | | |
| 受取利息 | 46,818 | | | 46,818 | 40,572 | | 40,572 | | | 87,390 |
| 雑収益 | 193,983 | 367,807 | 54,352 | 616,142 | 76,802 | 93,590 | 170,392 | 2,429,272 | △ 1,733,419 | 1,482,387 |
| 固定負債取崩益 | | | | | | | | | | |
| 退職給付引当金取崩益 | | 13,064,591 | | 13,064,591 | | | | | | 13,064,591 |
| 経常収益計 | 4,480,713 | 1,104,140,425 | 54,352 | 1,108,675,490 | 119,005,467 | 286,924,616 | 405,930,083 | 93,567,901 | △ 1,733,419 | 1,606,440,055 |

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | | 収益事業等会計 | | | 法人会計 | 内部取引等消去 | 合 計 |
|----------|-----------------|------------------|--------------|-------------|-----------------|-----------------|-------------|------|-------------|-------------|
| | 公1 (緑のまちづくり) | 公2 (動物・植物・昆虫) | 共通 (事業運営) | 公益計 | 収1 (売店の運営など) | 他1 (公園・公園施設) | 収益等計 | | | |
| (2) 経常費用 | | | | | | | | | | |
| 事業費 | | | | | | | | | | |
| 給料 | | 211,907,515 | | 211,907,515 | 14,064,945 | | 14,064,945 | | | 225,972,460 |
| 諸手当 | | 144,907,692 | 4,562,336 | 149,470,028 | 7,425,744 | 904,172 | 8,329,916 | | | 157,799,944 |
| 報酬 | 1,478,769 | 99,390,568 | | 100,869,337 | 11,099,428 | 20,347,757 | 31,447,185 | | | 132,316,522 |
| 賞与引当金繰入額 | | 26,959,577 | 622,108 | 27,581,685 | 1,975,268 | 1,081,166 | 3,056,434 | | | 30,638,119 |
| 災害補償費 | | | | | | 73,607 | 73,607 | | | 73,607 |
| 賃金 | | 60,137,042 | | 60,137,042 | 14,316,824 | 5,510,185 | 19,827,009 | | | 79,964,051 |
| 退職給付費用 | | 25,748,918 | | 25,748,918 | 1,705,184 | | 1,705,184 | | | 27,454,102 |
| 福利厚生費 | 233,988 | 87,257,931 | 2,907,933 | 90,399,852 | 6,929,993 | 5,018,685 | 11,948,678 | | | 102,348,530 |
| 仕入費 | | | | | 50,460,125 | | 50,460,125 | | | 50,460,125 |
| 食糧費 | | 4,327 | | 4,327 | | | | | | 4,327 |
| 諸謝金 | 460,350 | 1,384,174 | | 1,844,524 | | | | | | 1,844,524 |
| 諸会費 | | 698,556 | | 698,556 | 51,200 | | 51,200 | | | 749,756 |
| 報償費 | 60,000 | 486,358 | | 546,358 | | | | | | 546,358 |
| 旅費 | | 626,494 | | 626,494 | | | | | | 626,494 |
| 通信運搬費 | 71,166 | 1,763,172 | | 1,834,338 | 86,086 | 108,323 | 194,409 | | | 2,028,747 |
| 減価償却費 | | 68,148 | | 68,148 | 1,302,531 | | 1,302,531 | | | 1,370,679 |
| 消耗品費 | 1,454,185 | 86,272,841 | 431,960 | 88,158,986 | 1,027,757 | 2,858,075 | 3,885,832 | | | 92,044,818 |
| 器具備品購入費 | | 794,960 | | 794,960 | | | | | | 794,960 |
| 原材料費 | | 1,008,643 | | 1,008,643 | | | | | | 1,008,643 |
| 委託料 | | 109,349,231 | | 109,349,231 | 1,695,722 | 144,145,170 | 145,840,892 | | | 255,190,123 |
| 修繕費 | | 42,603,863 | 101,337 | 42,705,200 | 555,456 | 12,634,035 | 13,189,491 | | | 55,894,691 |
| 工事請負費 | | 543,400 | | 543,400 | | | | | | 543,400 |
| 燃料費 | | 21,806,150 | 12,400 | 21,818,550 | 36,532 | 299,586 | 336,118 | | | 22,154,668 |
| 光熱水費 | | 124,214,897 | | 124,214,897 | 4,792,607 | 45,456,069 | 50,248,676 | | | 174,463,573 |
| 支払手数料 | 30,428 | 1,607,707 | 1,100 | 1,639,235 | 243,515 | 33,482 | 276,997 | | | 1,916,232 |
| 使用料及び賃借料 | | 8,242,867 | 3,580 | 8,246,447 | 3,984,278 | 1,041,572 | 5,025,850 | | | 13,272,297 |
| 保険料 | | 1,242,389 | 36,200 | 1,278,589 | 288,421 | 981,590 | 1,270,011 | | | 2,548,600 |
| 租税公課 | | 61,972,368 | 72,300 | 62,044,668 | 4,784,022 | 7,376,429 | 12,160,451 | | △ 1,733,419 | 72,471,700 |
| 支払負担金 | 733,756 | 21,100 | | 754,856 | 35,437 | | 35,437 | | | 790,293 |
| 支払補助金 | 957,300 | | | 957,300 | | | | | | 957,300 |
| 広報費 | | 672,302 | | 672,302 | 81,114 | | 81,114 | | | 753,416 |
| 雑費 | | | | | 25,808 | | 25,808 | | | 25,808 |
| 固定資産除却損 | | 2 | | 2 | 2 | | 2 | | | 4 |
| 棚卸減耗損 | | | | | 64,062 | | 64,062 | | | 64,062 |
| 棚卸資産廃棄損 | | | | | 80,320 | | 80,320 | | | 80,320 |

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | | 収益事業等会計 | | | 法人会計 | 内部取引等消去 | 合 計 |
|-------------------|-----------------|------------------|--------------|---------------|-----------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|---------------|
| | 公1 (緑のまちづくり) | 公2 (動物・植物・昆虫) | 共通 (事業運営) | 公益計 | 収1 (売店の運営など) | 他1 (公園・公園施設) | 収益等計 | | | |
| 管理費 | | | | | | | | | | |
| 給料 | | | | | | | | 18,268,371 | | 18,268,371 |
| 諸手当 | | | | | | | | 11,437,797 | | 11,437,797 |
| 報酬 | | | | | | | | 14,693,422 | | 14,693,422 |
| 賞与引当金繰入額 | | | | | | | | 2,472,385 | | 2,472,385 |
| 賃金 | | | | | | | | 3,245,930 | | 3,245,930 |
| 退職給付費用 | | | | | | | | 19,229,658 | | 19,229,658 |
| 福利厚生費 | | | | | | | | 8,005,370 | | 8,005,370 |
| 会議費 | | | | | | | | 64,570 | | 64,570 |
| 諸謝金 | | | | | | | | 440,000 | | 440,000 |
| 諸会費 | | | | | | | | 258,180 | | 258,180 |
| 報償費 | | | | | | | | 4,048 | | 4,048 |
| 通信運搬費 | | | | | | | | 944,557 | | 944,557 |
| 消耗品費 | | | | | | | | 851,613 | | 851,613 |
| 委託料 | | | | | | | | 294,162 | | 294,162 |
| 支払手数料 | | | | | | | | 108,312 | | 108,312 |
| 使用料及び賃借料 | | | | | | | | 11,885,597 | | 11,885,597 |
| 支払負担金 | | | | | | | | 703,075 | | 703,075 |
| 支払協賛金 | | | | | | | | 40,000 | | 40,000 |
| 経常費用計 | 5,479,942 | 1,121,693,192 | 8,751,254 | 1,135,924,388 | 127,112,381 | 247,869,903 | 374,982,284 | 92,947,047 | △ 1,733,419 | 1,602,120,300 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △ 999,229 | △ 17,552,767 | △ 8,696,902 | △ 27,248,898 | △ 8,106,914 | 39,054,713 | 30,947,799 | 620,854 | | 4,319,755 |
| 当期経常増減額 | △ 999,229 | △ 17,552,767 | △ 8,696,902 | △ 27,248,898 | △ 8,106,914 | 39,054,713 | 30,947,799 | 620,854 | | 4,319,755 |
| 2. 経常外増減の部 | | | | | | | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | | | | | | | |
| 経常外収益計 | | | | | | | | | | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | | | | | | | | |
| 経常外費用計 | | | | | | | | | | 0 |
| 当期経常外増減額 | | | | | | | | | | |
| 他会計振替前当期一般正味財産増減額 | △ 999,229 | △ 17,552,767 | △ 8,696,902 | △ 27,248,898 | △ 8,106,914 | 39,054,713 | 30,947,799 | 620,854 | | 4,319,755 |
| 他会計振替額 | 661,742 | 33,678,454 | 9,717,300 | 44,057,496 | △ 11,678,952 | △ 32,378,544 | △ 44,057,496 | | | |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | △ 337,487 | 16,125,687 | 1,020,398 | 16,808,598 | △ 19,785,866 | 6,676,169 | △ 13,109,697 | 620,854 | | 4,319,755 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | | | | 271,000 | | 271,000 | | | 271,000 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 337,487 | 16,125,687 | 1,020,398 | 16,808,598 | △ 20,056,866 | 6,676,169 | △ 13,380,697 | 620,854 | | 4,048,755 |
| 一般正味財産期首残高 | 65,051,215 | △ 398,988,806 | 978,755 | △ 332,958,836 | 146,095,376 | 15,053,225 | 161,148,601 | △ 48,780,300 | | △ 220,590,535 |
| 一般正味財産期末残高 | 64,713,728 | △ 382,863,119 | 1,999,153 | △ 316,150,238 | 126,038,510 | 21,729,394 | 147,767,904 | △ 48,159,446 | | △ 216,541,780 |

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | | 収益事業等会計 | | | 法人会計 | 内部取引等消去 | 合 計 |
|---------------|-----------------|------------------|--------------|-------------|-----------------|-----------------|-------------|--------------|---------|-------------|
| | 公1 (緑のまちづくり) | 公2 (動物・植物・昆虫) | 共通 (事業運営) | 公益計 | 収1 (売店の運営など) | 他1 (公園・公園施設) | 収益等計 | | | |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | | | | | | | |
| 基本財産運用益 | | | | | | | | | | |
| 基本財産受取利息 | 83,542 | 751,876 | | 835,418 | | | | | | 835,418 |
| 特定資産運用益 | | | | | | | | | | |
| 緑化基金受取利息 | 3,363,392 | | | 3,363,392 | | | | | | 3,363,392 |
| 協会賞基金受取利息 | 8,354 | | | 8,354 | | | | | | 8,354 |
| 受取寄付金 | | | | | | | | | | |
| 受取寄付金 | | 906,715 | | 906,715 | | | | | | 906,715 |
| 一般正味財産への振替額 | | | | | | | | | | |
| 一般正味財産への振替額 | △ 3,455,288 | △ 1,295,276 | | △ 4,750,564 | | | | | | △ 4,750,564 |
| 当期指定正味財産増減額 | | 363,315 | | 363,315 | | | | | | 363,315 |
| 指定正味財産期首残高 | 413,600,000 | 91,681,142 | | 505,281,142 | | | | | | 505,281,142 |
| 指定正味財産期末残高 | 413,600,000 | 92,044,457 | | 505,644,457 | | | | | | 505,644,457 |
| III 正味財産期末残高 | 478,313,728 | △ 290,818,662 | 1,999,153 | 189,494,219 | 126,038,510 | 21,729,394 | 147,767,904 | △ 48,159,446 | | 289,102,677 |

5 財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品・・・・・・・・・・先入先出法による原価法によっている。（時価が取得価額よりも下落した場合には、時価をもって貸借対照表価額とする。）
- (3) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
貸倒引当金・・・・・・・・債権については回収可能性に問題がないため、貸倒引当金は計上していない。
賞与引当金・・・・・・・・職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。
退職給付引当金・・・・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---------------------|-------------|-----------|---------|-------------|
| 基本財産 | | | | |
| 投資有価証券 | 112,000,000 | — | — | 112,000,000 |
| 小 計 | 112,000,000 | — | — | 112,000,000 |
| 特定資産 | | | | |
| 緑化基金積立資産 | 413,634,328 | — | — | 413,634,328 |
| 広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産 | 3,000,000 | — | — | 3,000,000 |
| 退職給付引当資産 | 33,376,919 | 1,489,184 | — | 34,866,103 |
| 減価償却引当資産 | 24,281,871 | 947,633 | — | 25,229,504 |
| 備品等購入資金積立資産 | 1,452,606 | — | — | 1,452,606 |
| みどり生きものサポーター募金積立資産 | 1,681,142 | 906,715 | 543,400 | 2,044,457 |
| 小 計 | 477,426,866 | 3,343,532 | 543,400 | 480,226,998 |
| 合 計 | 589,426,866 | 3,343,532 | 543,400 | 592,226,998 |

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に 対応する額) |
|---------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|
| 基本財産 | | | | |
| 投資有価証券 | 112,000,000 | (100,000,000) | (12,000,000) | (—) |
| 小 計 | 112,000,000 | (100,000,000) | (12,000,000) | (—) |
| 特定資産 | | | | |
| 緑化基金積立資産 | 413,634,328 | (402,600,000) | (11,034,328) | (—) |
| 広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産 | 3,000,000 | (1,000,000) | (2,000,000) | (—) |
| 退職給付引当資産 | 34,866,103 | (—) | (—) | (34,866,103) |
| 減価償却引当資産 | 25,229,504 | (0) | (25,229,504) | (—) |
| 備品等購入資金積立資産 | 1,452,606 | (0) | (1,452,606) | (—) |
| みどり生きものサポーター募金積立資産 | 2,044,457 | (2,044,457) | (0) | (—) |
| 小 計 | 480,226,998 | (405,644,457) | (39,716,438) | (34,866,103) |
| 合 計 | 592,226,998 | (505,644,457) | (51,716,438) | (34,866,103) |

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

| 種類及び銘柄 | 帳簿価額 | 時 価 | 評価損益 |
|--------------|-------------|-------------|-----------|
| 第368回大阪府公募公債 | 527,927,391 | 535,972,800 | 8,045,409 |
| 第327回利付国債 | 899,877 | 914,310 | 14,433 |
| 合 計 | 528,827,268 | 536,887,110 | 8,059,842 |

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末 残高 | 当期 増加額 | 当期 減少額 | 当期末 残高 | 貸借対照表上 の記載区分 |
|-------------------------------|------------------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------------|
| 補助金 受取協会運営等補助金 (広島市補助金) | 広島市 | 0 | 91,138,629 | 91,138,629 | 0 | — |
| 助成金 受取都市緑化フェア支援金 | 第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会 | 0 | 640,000 | 640,000 | 0 | — |
| 受取動物管理助成金 | (公社)日本動物園水族館協会 | 0 | 459,000 | 459,000 | 0 | — |
| 受取動物保護活動等助成金 | (公社)日本動物園水族館協会 | 0 | 368,000 | 368,000 | 0 | — |
| 合 計 | | 0 | 92,605,629 | 92,605,629 | 0 | |

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 内 容 | 金 額 |
|--------------|-----------|
| 経常収益への振替額 | |
| 基本財産受取利息の振替額 | 835,418 |
| 特定資産受取利息の振替額 | 3,371,746 |
| 受取寄付金の振替額 | 543,400 |
| 合 計 | 4,750,564 |

7. 関連当事者との取引の内容
 関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

(単位：円)

| 属 性 | 法 人 等 の 名 称 | 住 所 | 資 産 総 額 | 事 業 の 内 容 又 は 職 業 | 議 決 権 の 所 有 割 合 | 関 係 内 容 | | 取引の内容 | 取引金額 | 科目 | 期末 残高 |
|--|----------------------------|-------------|------------------|---|--------------------------------------|---------------------------|----------|--------------------|---------------|------------|----------|
| | | | | | | 役員の兼務等 | 事業上の関係 | | | | |
| 当 法 人 を 支 配 す る 法 人 | 広 島 市 中 区 | 広 島 市 | — | — | — | 理事15名中 市職員2名 元市職員4名 | 市公共事業の受託 | 広島市の公園及び公園施設の指定管理 | 1,184,713,671 | — | 0 |
| | | | | | | | | 広島市の公園及び公園施設の維持補修等 | 919,856 | — | 0 |
| | | | | | | | | 協会事業に対する補助 | 協会運営事業に対する補助 | 91,138,629 | — |

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

剰余金が生じた場合において、指定管理については毎年度又は指定管理期間満了時に精算を行い返還することとし、受託及び補助については毎年度精算を行い返還することとしている。

8. 表示方法の変更

当年度から、次のとおり表示方法を変更している。なお、前年度決算額は当年度の変更に対応させ、組み替えて表示している。

| 変更前 | 変更後 |
|----------------------|--------------------------------------|
| (2) 経常費用 事業費及び管理費 | (2) 経常費用 事業費及び管理費 |
| 賞与引当金繰入 | 賞与引当金繰入額 |
| 退職給付費用 退職共済掛金 | 退職給付費用 (「退職共済掛金」は、「退職給付費用」に含めて表示) |
| 手数料 | 支払手数料 |
| 租税公課費 | 租税公課 |
| 負担金 | 支払負担金 |
| 補助金 | 支払補助金 |
| 協賛金 | 支払協賛金 |

6 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

| 科 目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|---------|-------------|------------|------------|-----|-------------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 賞与引当金 | 33,523,111 | 33,110,504 | 33,523,111 | - | 33,110,504 |
| 退職給付引当金 | 459,930,043 | 33,163,169 | 18,182,039 | - | 474,911,173 |

財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 | |
|--------------------|---------------------|-------------------|---|---|-------------|
| (流動資産) | | | | | |
| 現金 預金 | 現金 預金 | 手元保管 | 運転資金として | 11,200,157 | |
| | | 普通預金 | 運転資金として | | |
| | | 広島銀行本店営業部 | | 69,139,036 | |
| | | 広島銀行安支店 | | 61,126,425 | |
| | | 広島銀行五日市八幡支店 | | 105,136,782 | |
| | | 広島銀行福田支店 | | 14,315,603 | |
| | | 定期預金 | 運転資金として | | |
| | | 朝銀西信用組合広島支店 | | 6,000,000 | |
| | | 西京銀行広島支店 | | 10,000,000 | |
| | | 広島市信用組合安支店 | | 10,000,000 | |
| | | 広島県信用漁業協同組合連合会本店 | | 10,000,000 | |
| | | 振替口座 | 運転資金として | | |
| | | ゆうちょ銀行日浦郵便局 | | 250,403 | |
| ゆうちょ銀行広島馬木郵便局 | | 145,721 | | | |
| 未収金 | 販売手数料等 | | 9,608,047 | | |
| 商品 | 来園者等への販売用 | | 9,241,688 | | |
| 流動資産合計 | | | | 316,163,862 | |
| (固定資産) | | | | | |
| 基本財産 | 投資有価証券 | 第368回大阪府公募公債 | 公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益のうち91.1%は動物公園等の運営事業、8.9%は緑のまちづくり事業の財源として使用している。 | 112,000,000 | |
| 特定資産 | 緑化基金積立資産 | 投資有価証券 | 公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。 | 412,736,000 | |
| | | 第368回大阪府公募公債 | 同上 | 898,328 | |
| | | 第327回利付国債 | 同上 | | |
| | 広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産 | 投資有価証券 | 第368回大阪府公募公債 | 公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。 | 3,000,000 |
| | | 第368回大阪府公募公債 | | | |
| | 退職給付引当資産 | 普通預金 | 広島銀行本店営業部 | 収益事業従事職員に対する退職金の支払いに備え管理している預金 | 13,376,919 |
| | | 広島銀行安支店 | | 同上 | 1,489,184 |
| | | 定期預金 | 広島県信用組合安古市支店 | 同上 | 10,000,000 |
| | | 広島市農業協同組合あさひが丘支店 | | 同上 | 10,000,000 |
| | | 普通預金 | 広島銀行本店営業部 | 器具備品等の更新に備え管理している預金 | 20,417,141 |
| | 減価償却引当資産 | 広島銀行安支店 | | 同上 | 316,649 |
| | | 広島銀行五日市八幡支店 | | 同上 | 495,714 |
| | | 定期預金 | 朝銀西信用組合広島支店 | 同上 | 4,000,000 |
| 普通預金 | | 広島銀行本店営業部 | 器具備品等の取得に備え管理している預金 | 1,452,606 | |
| みどり生きものサポーター募金積立資産 | 普通預金 | 広島銀行安支店 | 魅力ある施設づくりのための寄付金を管理している預金 | 1,803,420 | |
| | 広島銀行安支店 | | 同上 | 67,343 | |
| | 広島銀行五日市八幡支店 | | 同上 | 173,694 | |
| | 広島銀行福田支店 | | 同上 | | |
| その他固定資産 | 建物 | 植物公園 温室及び倉庫 62.3㎡ | 収益事業における販売用植物の展示・保管用 | 2 | |
| | | 安佐動物公園 仮設売店 9.7㎡ | 収益事業における飲食物販売用 | 982,997 | |
| | 構築物 | 普通乗用車 1台 | 公益目的保有財産であり、公益目的事業共通の用に供している。 | 1 | |
| | | 小型貨物等2台、スクーター2台 | 収益事業用車両運搬具 | 4 | |
| | 器具備品 | デジタルカメラ等21点 | 公益目的保有財産であり、動物公園等の運営事業の用に供している。 | 1,003,996 | |
| | | 冷蔵庫等78点 | 収益事業用器具備品 | 3,488,022 | |
| | 電話加入権 | 安佐動物公園 管理事務所 | 収益事業に係る電話回線(1回線) | 74,984 | |
| | | 投資有価証券 | 第368回大阪府公募公債 | 満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業等の財源として使用している。 | 217,790 |
| | | | 第327回利付国債 | 同上 | 1,592 |
| | 固定資産合計 | | | | 597,996,386 |
| 資産合計 | | | | 914,160,248 | |

(単位：円)

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---------|---------|--------------------------|---------------------------|-------------|
| (流動負債) | 未払金 | 維持管理業務等委託先業者ほか | 委託料等の未払額 | 83,604,307 |
| | 未払消費税等 | 広島東税務署 | 令和2年度消費税及び地方消費税の未払額 | 18,332,700 |
| | 未払法人税等 | 広島東税務署 | 令和2年度法人税等の未払額 | 271,000 |
| | 前受金 | 広島動物愛好会等会員 | 令和3年度分前受会費 | 49,000 |
| | 買掛金 | 商品仕入先業者 | 売店等における商品仕入れの買掛額 | 5,784,936 |
| | 預り金 | 広島東税務署、厚生労働省年金局、 広島市等 | 源泉所得税、健康保険料及び厚生年金保険料、住民税等 | 7,304,491 |
| | 賞与引当金 | 職員に対するもの | 職員116名に対する賞与の支払いに備えたもの | 33,110,504 |
| 流動負債合計 | | | | 148,456,938 |
| (固定負債) | 退職給付引当金 | 職員に対するもの | 職員63名に対する退職金の支払いに備えたもの | 474,911,173 |
| | 長期預り金 | 維持管理業務等委託先業者 | 契約保証金 | 1,689,460 |
| 固定負債合計 | | | | 476,600,633 |
| 負債合計 | | | | 625,057,571 |
| 正味財産 | | | | 289,102,677 |

監査報告書

令和3年5月14日

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
理事長 及川 享 様

公益財団法人広島市みどり生きもの協会

監事 神田 敏治

公益財団法人広島市みどり生きもの協会

監事 久光 章

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実
は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上